

AXIS M50 PTZ Network Camera Series
AXIS M5054 PTZ Network Camera
AXIS M5055 PTZ Network Camera

ユーザーマニュアル

本書について

本マニュアルはAXIS M5054 PTZネットワークカメラおよびAXIS M5055 PTZネットワークカメラの管理者およびユーザーを対象とし、ファームウェア6.50以降に適用されます。本マニュアルには、製品をネットワーク上で使用し、管理するための手順を記載しています。ネットワークに関する経験があると、本製品を使用する上で役に立ちます。UNIXまたはLinuxベースのシステムに関する一定の知識も、シェルスクリプトおよびアプリケーションを開発する上で役に立つ場合があります。本ガイドの以降のバージョンは、www.axis.comに掲載されます。本製品のオンラインヘルプもご参照ください。Webベースのインターフェースをご利用いただけます。

法律上の注意事項

映像や音声による監視は法律によって規制されている場合があります。その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用いただく地域の法律を確認してください。

本製品には次の各種ライセンスが含まれています。

- AACデコーダーライセンス1つ
 - H.264デコーダーライセンス1つ
- 追加ライセンスの購入については、販売代理店にお問い合わせください。

法的責任

本書は細心の注意をもって準備されています。誤りや欠落を見つけた場合には、お近くのAxisオフィスまでお知らせください。Axis Communications ABは、いかなる技術または印刷上の誤りについても一切責任を負わず、本製品およびマニュアルに予告なく変更を加える権利を留保します。Axis Communications ABは、市場性および特定目的への適合性に関する黙示的保証を含め(ただし、それらに限定されない)、本書の記載内容に関して、いかなる種類の保証もいたしません。Axis Communications ABは、本書の記載内容にしたがった機器の設置、性能、使用に関する間接的損害または結果的損害に責任も義務も負わないものとします。本製品は、その本来の目的でのみ使用してください。

知的財産権

Axis ABは、本書に記載された製品で具体化された技術の知的財産権を保有しています。これらの知的財産権としては、具体的かつ無制限に、axis.com/patent.htmlに表示されている1つまたは複数の特許と米国および他の国々における1つまたは複数の追加特許または係属中の特許出願を含む場合があります。

本製品には、ライセンスされたサードパーティーソフトウェアが含まれています。詳細については、本製品のユーザーインターフェースのメニュー項目 [About] (製品情報) を参照してください。

本製品には、Apple Public Source License 2.0の条項 (opensource.apple.com/apsl/を参照) に基づいて、Apple Computer, Inc.のソースコード著作権が含まれています。ソースコードは、developer.apple.com/bonjour/からご利用いただけます。

製品の改修

本製品は、ユーザーズマニュアル記載の手順に厳密にしたがってインストールし、使用する必要があります。本製品には、ユーザーが修理できる部品は含まれていません。本製品を権限なく変更または改修すると、適用されるすべての規制上の認証や認可が無効になります。

商標

AXIS COMMUNICATIONS、AXIS、およびVAPIXは、さまざまな管轄区域におけるAxis ABの登録商標または商標出願です。他のすべての会社名および製品は、各会社の商標または登録商標です。

Apple、Boa、Apache、Bonjour、Ethernet、Internet Explorer、Linux、Microsoft、Mozilla、Real、SMPTE、QuickTime、UNIX、Windows、Windows Vista、WWWは、各所有者の登録商標です。JavaとすべてのJavaベースの商標およびロゴは、Oracleおよび関連会社の商標または登録商標で

す。UPnP文字商標およびUPnPロゴは、米国および他の国々におけるOpen Connectivity Foundation, Inc.の商標です。

SD、SDHC、SDXCは、米国および/または他の国々におけるSD-3C, LLCの商標または登録商標です。miniSD、microSD、miniSDHC、microSDHC、microSDXCも、米国および/または他の国々におけるSD-3C, LLCの登録商標または商標です。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は、以下に関する適用規格を満たすように設計、試験されています。

- 指示に従って設置し、想定環境内で使用する場合の無線周波放射
- 指示に従って設置し、想定環境内で使用する場合の電気および電磁現象に対する耐性

米国

本装置は、シールドネットワークケーブル (STP) を使用した試験において、FCC基準パート15に基づき、クラスAデジタルデバイスの制限に準拠していることが認証済みです。これらの制限は、商業環境での稼働時に本装置を有害な干渉から適切に保護することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、使用説明書に準拠して設置および使用しない場合は、無線通信に有害な干渉をおよぼすおそれがあります。本装置が住居地域内で作動することによって有害な干渉が発生することがあります。その場合は、ユーザーの負担で干渉を修正する必要があります。本製品は、適切に接地したシールドネットワークケーブル (STP) を使用して接続してください。

カナダ

本装置は、CAN ICES-3 (クラスA) に準拠したデジタル装置です。本製品は、適切に接地したシールドネットワークケーブル (STP) を使用して接続してください。Cet appareil numérique est conforme à la norme CAN NMB-3 (classe A). Le produit doit être connecté à l'aide d'un câble réseau blindé (STP) qui est correctement mis à la terre.

欧州

本デジタル装置は、EN 55032のクラスA制限に準拠したRF放射の要件を満たしています。本製品は、適切に接地したシールドネットワークケーブル (STP) を使用して接続してください。注意！本装置はクラスA製品です。住宅地域で本製品を使用すると無線干渉が発生する可能性があります。その場合、ユーザーが適切な対策を講じなければならないことがあります。

オーストラリア/ニュージーランド

本デジタル装置は、AS/NZS CISPR 32のクラスA制限に準拠したRF放射の要件を満たしています。本製品は、適切に接地したシールドネットワークケーブル (STP) を使用して接続してください。注意！本装置はクラスA製品です。住宅地域で本製品を使用すると無線干渉が発生する可能性があります。その場合、ユーザーが適切な対策を講じなければならないことがあります。

日本

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。本製品は、シールドネットワークケーブル (STP) を使用して接続してください。また適切に接地してください。

韓国

이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성 평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다. 적절히 접지된 STP (shielded twisted pair) 케이블을 사용하여 제품을 연결 하십시오.

安全性

本製品は、IEC/EN/UL 62368-1、音声/ビデオおよび情報技術装置の安全性に準拠しています。

ケーブルを屋外に配線している場合は、シールドネットワークケーブル (STP) または他の適切な方法を用いて製品を接地してください。

Power over Ethernet (PoE) で使用する際、給電装置 (PSE) は IEC/EN/UL 60950-1 の 2.5 項または IEC/EN/UL 62368-1 の 付録 Q に従って、IEEE 802.3af と Limited Power Source (LPS) に準拠している必要があります。

廃棄およびリサイクル

本製品がその耐用年数に達した場合は、地域の法律と規制に従って廃棄してください。最寄りの指定収集場所に関する情報については、当該地域の廃棄物担当当局にお問い合わせください。本製品を不正に廃棄すると、地域当局による処罰の対象となることがあります。



この記号は、本製品を家庭または商業廃棄物と一緒に処分してはならないことを意味します。本製品は、欧州連合 (EU) 加盟国において廃電気電子機器指令 (WEEE 指令) 2012/19/EU の対象となります。人の健康や環境に害を与える可能性を避けるため、本製品は、必ず、認可された環境的に安全なリサイクル処理で廃棄してください。最寄りの指定収集場所に関する情報については、当該地域の廃棄物担当当局にお問い合わせください。商用利用者は本製品の適切な廃棄方法について、製品のサプライヤーに問い合わせてください。

本製品は、電気電子機器における特定有害物質の使用規制 (RoHS) に関する指令 2011/65/EU の要件に準拠しています。

コンタクト情報

Axis Communications AB
Emdalavägen 14
223 69 Lund
Sweden

電話: +46 46 272 18 00
Fax: +46 46 13 61 30

axis.com

サポート

技術サポートが必要な場合は、Axis の販売代理店までお問い合わせください。ご質問にすぐにお答えできない場合は、お客様をお待たせしないように、お問い合わせ内容が販売店から適切な窓口に送られます。インターネットに接続している場合は、次の作業を自身で行うことができます。

- ユーザードキュメントとソフトウェアアップデートをダウンロード
- 製品、カテゴリー、フレーズ検索機能を使用して、FAQ データベース内で解決済みの質問への回答を見つける
- お客様専用のサポートページにログインし、Axis サポートスタッフに問題を報告
- Axis サポートスタッフとチャット
- Axis サポート axis.com/support にアクセス

保証情報

Axis の製品保証と関連情報については、axis.com/warranty をご覧ください

詳細情報

Axis ラーニングセンター (axis.com/academy) にアクセスしてください。役に立つトレーニング、ウェブセミナー、チュートリアル、ガイドをご用意しています。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 安全情報 | 6 |
| 危険レベル | 6 |
| その他のメッセージレベル | 6 |
| 安全手順 | 7 |
| 輸送 | 7 |
| バッテリー | 7 |
| ソリューションの概要 | 8 |
| 製品の概要 | 9 |
| 製品のアクセス方法 | 10 |
| ブラウザから本製品へのアクセス方法 | 10 |
| インターネットから本製品にアクセスする方法 | 10 |
| rootパスワードの設定方法 | 11 |
| キャプチャーモードの設定 | 11 |
| ライブビューウィンドウについて | 11 |
| メディアストリームについて | 14 |
| H.264形式について | 14 |
| MJPEG形式について | 15 |
| AXIS Media Control (AMC) について | 15 |
| ビデオストリームにアクセスする他の方法 | 15 |
| 音声ストリームへのアクセス | 16 |
| 製品の設定方法 | 17 |
| 基本設定の方法 | 17 |
| ビデオと音声 | 18 |
| ビデオストリームの設定方法 | 18 |
| ストリームプロファイルについて | 21 |
| ONVIFメディアプロファイルについて | 21 |
| カメラ設定について | 21 |
| オーバーレイについて | 23 |
| プライバシーマスクについて | 25 |
| 音声設定の変更方法 | 26 |
| ライブビューウィンドウを設定する方法 | 27 |
| ブラウザのデフォルトビューアを設定する方法 | 27 |
| ビューアの設定について | 27 |
| ユーザー定義リンクについて | 28 |
| PTZ (パン、チルト、ズーム) について | 29 |
| プリセットポジションについて | 29 |
| OSDIゾーン | 30 |
| 詳細設定 | 30 |
| コントロールキューについて | 31 |
| アプリケーションについて | 32 |
| アプリケーションのライセンスについて | 32 |
| アプリケーションをアップロードして起動する方法 | 32 |
| アプリケーションの注意事項 | 33 |
| AXIS Audio Volume Detectionについて | 33 |
| AXIS Scream Detectionについて | 33 |
| AXIS Removed Object Detectionについて | 34 |
| イベントについて | 36 |
| アクションルールの設定方法 | 36 |
| 送信先を追加する方法 | 38 |
| スケジュールを作成する方法 | 40 |
| 繰り返しの設定方法 | 40 |
| 録画について | 41 |
| 録画の検索方法 | 41 |
| 録画の再生方法 | 42 |
| ビデオクリップをエクスポートする方法 | 42 |
| 連続録画について | 42 |
| 言語について | 44 |

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

目次

| | |
|---------------------------|----|
| システムオプションについて | 45 |
| セキュリティ | 45 |
| 日付と時刻 | 48 |
| ネットワーク | 48 |
| ストレージ | 54 |
| 保守 | 57 |
| サポート | 58 |
| 詳細設定 | 58 |
| 工場出荷時の設定にリセットする方法 | 59 |
| トラブルシューティング | 60 |
| 現在のファームウェアの確認方法 | 60 |
| ファームウェアのアップグレード方法 | 60 |
| 現象、考えられる原因、対策 | 60 |
| 仕様 | 64 |
| LEDインジケータ | 64 |
| SDカードスロット | 64 |
| ボタン | 64 |
| コネクタ | 65 |
| パフォーマンスに関する一般的な検討事項 | 65 |

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

安全情報

安全情報

危険レベル

▲危険

回避しない場合、死亡または重傷につながる危険な状態を示します。

▲警告

回避しない場合、死亡または重傷につながるおそれのある危険な状態を示します。

▲注意

回避しない場合、軽傷または中程度の怪我につながるおそれのある危険な状態を示します。

注記

回避しない場合、器物の破損につながるおそれのある状態を示します。

その他のメッセージレベル

重要

製品を正しく機能させるために不可欠な重要情報を示します。

注意

製品を最大限に活用するために役立つ有用な情報を示します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

安全手順

安全手順

注記

- ・ 本製品は、お使いになる地域の法律や規制に準拠して使用してください。
- ・ Axisは、シールドネットワークケーブル (STP) CAT5以上の使用を推奨します。
- ・ 本製品を設置する際には、適切な工具のみを使用してください。電動工具を使用して過剰な力をかけると、製品が損傷することがあります。
- ・ 製品の技術仕様に準拠したアクセサリのみを使用してください。これらのアクセサリは、Axisまたはサードパーティから入手できます。Axisは、ご使用の製品と互換性のあるAxis給電ネットワークスイッチの使用を推奨します。
- ・ Axisが提供または推奨する交換部品のみを使用してください。
- ・ 製品を自分で修理しないでください。修理については、Axisサポートまたは販売代理店にお問い合わせください。

輸送

注記

- ・ 本製品を運搬する際は、製品が損傷しないよう、元の梱包か同等の梱包を使用してください。

バッテリー

バッテリーが低電力状態になると、RTCの動作に影響し、電源を入れるたびにRTCがリセットされます。バッテリーの交換が必要になると、製品のサーバーレポートにログメッセージが表示されます。サーバーレポートの詳細については、製品の設定ページを参照するか、Axisサポートまでお問い合わせください。

必要な場合以外はバッテリーを交換しないでください。バッテリーの交換が必要な場合は、Axisサポート axis.com/supportまでご連絡ください。

リチウムコイン型3.0V電池は、1,2-ジメトキシエタン (エチレングリコールジメチルエーテル (EGDME)、CAS番号 110-71-4) を含有しています。

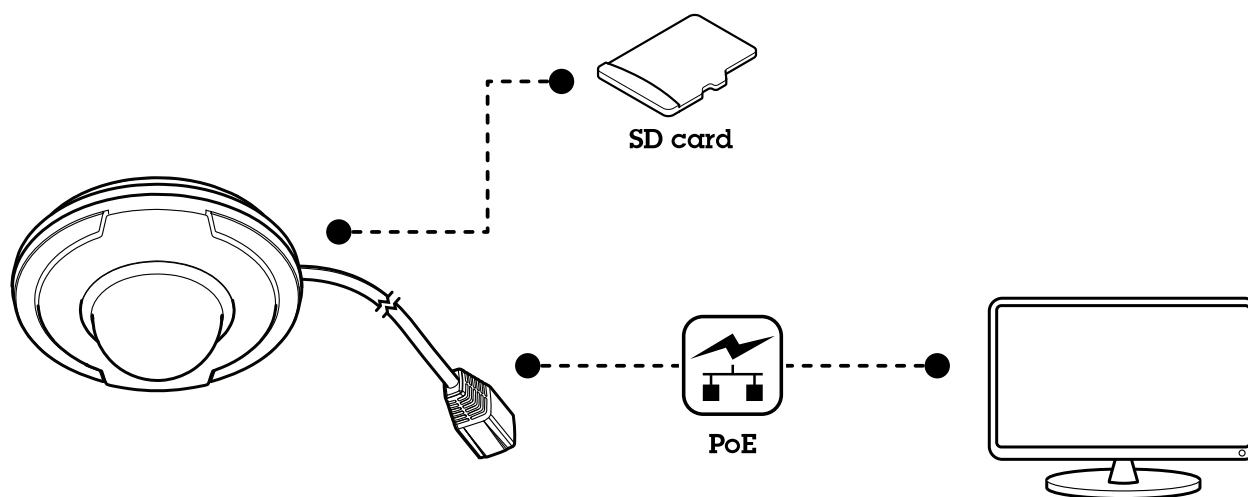
警告

- ・ バッテリーは、正しく交換しないと爆発する危険があります。
- ・ 交換用バッテリーとしては、同一品またはAxisが推奨するバッテリーのみを使用してください。
- ・ 使用済みバッテリーは、地域の規制またはバッテリーメーカーの指示に従って廃棄してください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ソリューションの概要

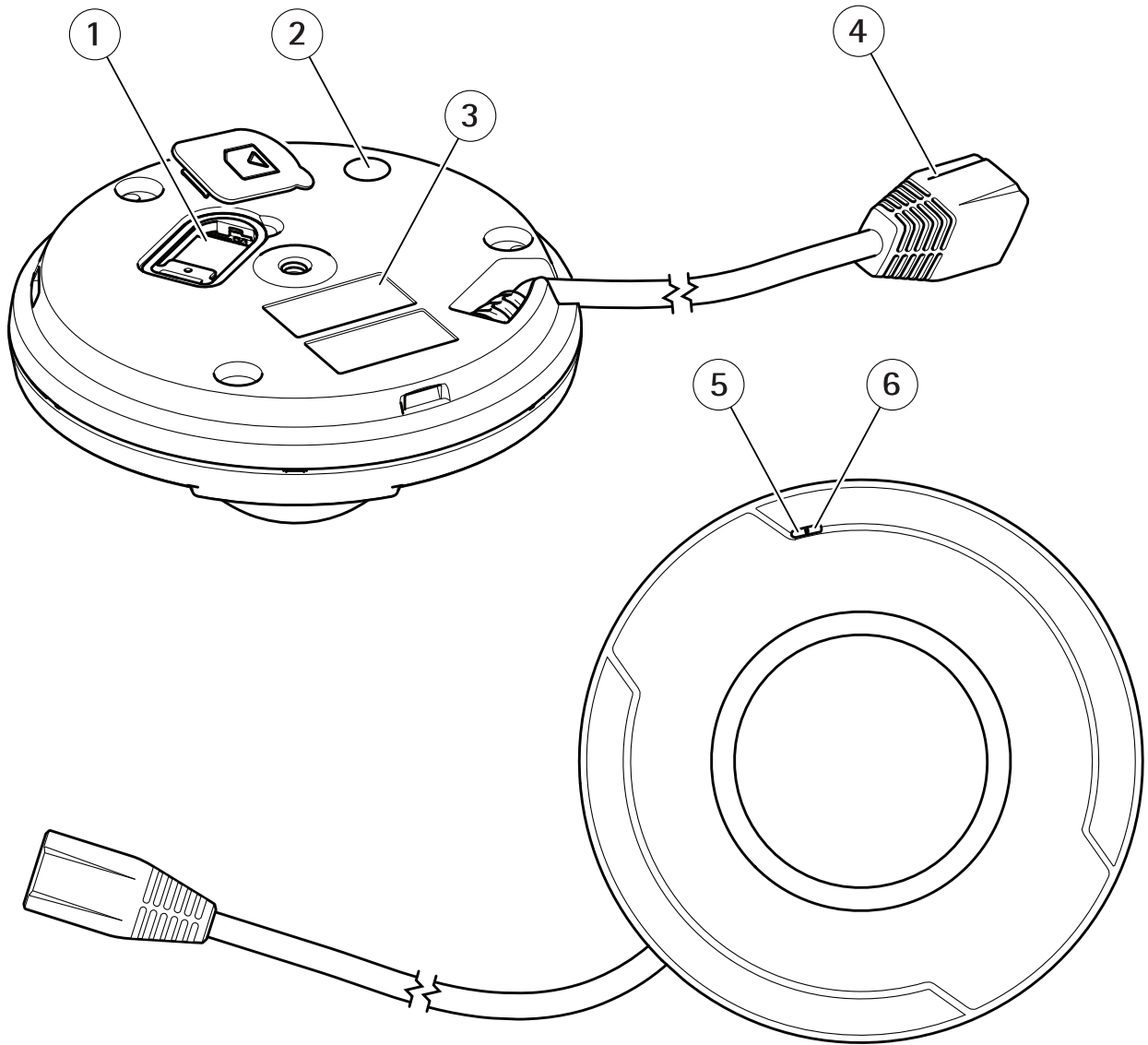
ソリューションの概要



AXIS M50 PTZ Network Camera Series

製品の概要

製品の概要



- 1 microSDカードスロット
- 2 コントロールボタン
- 3 型番 (P/N) とシリアル番号 (S/N)
- 4 ネットワークコネクタ (PoE)
- 5 マイク
- 6 ステータスLEDインジケータ

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

製品のアクセス方法

製品のアクセス方法

本製品のインストールについては、製品に添付されている『インストールガイド』を参照してください。

本製品は、ほとんどのオペレーティングシステムとブラウザでご利用いただけます。推奨ブラウザは以下のとおりです。

- Internet Explorer® (Windows® の場合)
- Safari® (OS X® の場合)
- Chrome™ または Firefox® (その他のオペレーティングシステムの場合)

Internet Explorer でストリーミングビデオを見るには、表示される指示にしたがって、AXIS Media Control (AMC) をコンピューターにインストールします。

本製品には、ビデオストリーム表示用 H.264 デコーダライセンスが 1 つと AAC オーディオライセンスが 1 つ含まれています。このライセンスは、AMC で自動的にインストールされます。管理者は、デコーダのインストールを無効にすることによって、ライセンスされていないコピーのインストールを防止することができます。

注意

- QuickTime™ も、H.264 ストリームの表示用と音声用にサポートされています。

ブラウザから本製品へのアクセス方法

1. Web ブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスフィールドに、本製品の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

Mac コンピューター (OS X) から本製品にアクセスするには、Safari で Bonjour をクリックし、ドロップダウンリストから本製品を選択します。Bonjour をブラウザのブックマークとして追加するには、[Safari > Preferences (Safari > 設定)] に移動します。

本製品の IP アドレスが不明な場合には、AXIS IP Utility を使用して、ネットワーク上で本製品を特定します。IP アドレスの検出や割り当てを行う方法については、Axis のサポートホームページ (axis.com/support) にあるドキュメント『IP アドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス』を参照してください。

3. ユーザー名とパスワードを入力します。初めて本製品にアクセスする場合は、最初にルートパスワードを設定する必要があります。
4. ブラウザーで製品のライブビューページが開きます。

インターネットから本製品にアクセスする方法

接続すると、ローカルエリアネットワーク (LAN) 上の本製品にアクセスできます。

インターネットから本製品にアクセスするには、ネットワークルーターを設定して、本製品への着信データトラフィックを許可する必要があります。この設定を行うには、NAT トラバーサル機能を有効にします。この機能により、ルーターが自動的に設定され、本製品へのアクセスが許可されます。この機能は、[Setup > System Options > Network > TCP/IP Advanced (設定 > システムオプション > ネットワーク > TCP/IP 詳細設定)] で有効にできます。

詳細については、52 ページの *IPv4 用 NAT トラバーサル (ポートマッピング)* を参照してください。

このトピックや他のトピックに関する技術資料については、Axis サポートページ (www.axis.com/support) をご覧ください。

AXIS Internet Dynamic DNS Service (www.axiscam.net) も参照してください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

製品のアクセス方法

rootパスワードの設定方法

本製品にアクセスするには、デフォルトの管理者ユーザー「**root**」のパスワードを設定する必要があります。このパスワードは、**[Configure Root Password (rootパスワードの設定)]** ダイアログで設定できます。このダイアログは、製品への初回アクセス時に表示されます。

ネットワークの傍受を防ぐには、暗号化されたHTTPS接続でrootパスワードを設定できますが、これにはHTTPS証明書が必要です。HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over SSL) は、Webブラウザとサーバー間のトラフィックを暗号化するために使用されるプロトコルです。HTTPS証明書は、暗号化された情報交換を保証します。46ページの**HTTPS**を参照してください。

デフォルトの管理者ユーザー名は、常に「**root**」であり、削除できません。rootのパスワードを忘れた場合は、製品を工場出荷時の設定にリセットする必要があります。59ページの**工場出荷時の設定にリセットする方法**を参照してください。

標準のHTTP接続でパスワードを設定する場合は、ダイアログでパスワードを直接入力します。

暗号化されたHTTPS接続でパスワードを設定する場合は、以下の手順にしたがいます。

1. **[Use HTTPS (HTTPSを使用する)]** をクリックします。
一時証明書 (有効期間1年) が作成され、製品を出入りするすべてのトラフィックを暗号化し、安全にパスワードを設定できるようになります。
2. パスワードを入力後、パスワードを再入力してスペルを確認します。
3. **[OK]** をクリックします。これでパスワードが設定されました。

キャプチャーモードの設定

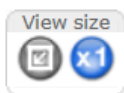
キャプチャーモードは、本製品で使用できる最大フレームレートを定義します。キャプチャーモードは光感度にも影響します。最大フレームレートが高いキャプチャーモードでは光感度が低く、逆に最大フレームレートが低い場合は光感度が高くなります。

22ページの**キャプチャーモード**についても参照してください。

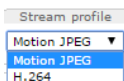
ライブビューウィンドウについて

ライブビューウィンドウのコントロールとレイアウトは、インストール要件およびユーザーの希望に応じてカスタマイズされている場合があります。そのため、ここに示す例と機能の一部がご利用のライブビューウィンドウの表示と異なる場合があります。以下に、利用可能な各コントロールの概要を示します。

ライブビューウィンドウのコントロールについて



[View size (表示サイズ)] ボタンをクリックすると、映像をフルサイズで表示するか (右ボタン)、映像がブラウザウィンドウ内に収まるようにスケールダウンできます (左ボタン)。



[Stream Profile (ストリームプロファイル)] ドロップダウンリストから、ライブビューページのストリームプロファイルを選択します。ストリームプロファイルの設定方法については、27ページを参照してください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

製品のアクセス方法



[Manual Trigger (手動トリガー)] ボタンを使用して、ライブビューページからアクションルールをトリガーすることができます。このボタンを設定して、有効にする方法については、12ページの手動トリガーについてを参照してください。



[スナップショット] をクリックして、ビデオ映像のスナップショットを保存します。このボタンは主に、AXIS Media Controlビューアのツールバーが表示されない場合に使用します。このボタンは、[Live View Config (ライブビューの設定)] > [Action Buttons (アクションボタン)] で有効にします。

手動トリガーについて

ライブビューページからアクションルールをトリガーするには、[Manual Trigger (手動トリガー)] を使用します。手動トリガーは、本製品の設置、設定中にアクションを検証する目的などで使用できます。

手動トリガーを設定するには:

1. [Setup > Events (設定 > イベント)] に移動します。
2. [Add (追加)] をクリックして、新しいアクションルールを追加します。
3. [Trigger (トリガー)] ドロップダウンリストから [Input Signal (入力信号)] を選択します。
4. 2番目のドロップダウンリストから、[Manual Trigger (手動トリガー)] を選択します。
5. アクションを選択し、必要に応じて、その他の設定を行います。

アクションルールの詳細については、36ページの、イベントについてを参照してください。

ライブビュー ページに手動トリガーボタンを表示するには:

1. [Setup > Live View Config (設定 > ライブビューの設定)] に移動します。
2. [Action Buttons (アクションボタン)] の [Show manual trigger button (手動トリガーボタンを表示する)] を選択します。

AXIS Media Controlビューアのツールバーについて

AXIS Media Controlビューアのツールバーは、Internet Explorerでのみ使用できます。詳細については、15ページのAXIS Media Control (AMC) についてを参照してください。ツールバーには、以下のボタンが表示されます。



[Play (再生)] ボタンは、Axis製品に接続して、メディアストリームの再生を開始します。



[Stop (停止)] ボタンは、メディアストリームの再生を停止します。



[Snapshot (スナップショット)] ボタンは、ビデオ画像のスナップショットを取ります。



[View Full Screen (全画面表示)] ボタンをクリックすると、画面全体にビデオ画像が表示されます。全画面表示をキャンセルするには、コンピューターのキーボードのEsc (Escape) キーを押します。



[Record (録画)] ボタンは、現在のビデオストリームをコンピューターに記録するために使用されます。録画を保存する場所は、AMCのコントロールパネルで指定することができます。このボタンは、[Live View Config (ライブビューの設定)] > [Viewer Settings (ビューアの設定)] で有効にすることができます。


AMCの音声コントロール

AMCの音声ボタンを使用して、クライアントコンピューターに接続されたスピーカーを制御することができます。これらのボタンは、音声が無効になっている場合のみ表示されます。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

製品のアクセス方法

音声の設定方法については、26ページの*音声設定の変更方法*を参照してください。

 **Speaker (スピーカー) ボタン** — クリックすると、音声のオン/オフが切り替わります。



スピーカーの音量調整には、スライダーを使用します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

メディアストリームについて

メディアストリームについて

本製品の音声およびビデオストリームには、数種類の形式があります。どの形式を使用するかは、お客様の要件とネットワークの特性によって決まります。

本製品のライブビューウィンドウから、H.264とMotion JPEGのビデオストリーム、音声ストリーム、使用可能なストリームプロファイルのリストにアクセスできます。他のアプリケーションとクライアントは、ライブビューウィンドウを経由せずに、直接、ビデオ、音声ストリームにアクセスできます。

H.264形式について

H.264を使用すると、画質を損なうことなく、デジタル映像ファイルのサイズを削減でき、Motion JPEG形式の場合と比較すると80%以上、MPEG-4標準規格と比較すると50%以上削減できます。そのため、映像ファイルに必要なネットワーク帯域幅やストレージ容量が大幅に少なくなります。また、別の見方をすれば、同じビットレートではるかに高い映像品質が得られることになります。

使用するプロトコルと方法の組み合わせは、閲覧要件とネットワークのプロパティにより異なります。AXIS Media Controlで利用できるオプションは、以下のとおりです。

| | | |
|-------------------------|--|--|
| ユニキャストRTP | ライブのユニキャスト映像には、このユニキャスト方式 (RTP over UDP) が使用されます。特に、一部のフレームが欠落していても、ビデオストリームが最新であることが重要な場合に使用されます。 | ユニキャストはビデオオンデマンドの転送に使用されるため、クライアントが接続してストリームを要求するまで、ネットワークにビデオトラフィックは発生しません。ただし、同時ユニキャスト接続は最大10です。 |
| RTP over RTSP | このユニキャスト方式 (RTP tunneled over RTSP) が便利なのは、比較的簡単にファイアウォールを設定してRTSPトラフィックを許可できることです。 | |
| RTP over RTSP over HTTP | このユニキャスト方式を使用すると、ファイアウォールを通過できます。ファイアウォールは、通常、HTTPプロトコルを許可するように設定されているので、RTPのトンネリングも許可されます。 | |
| マルチキャストRTP | この方式 (RTP over UDP) は、ライブのマルチキャスト映像に使用します。ビデオストリームは、一部のフレームが欠落していても、常に最新です。マルチキャストでは、同時に閲覧する多数のクライアントがいる場合に最も効率的に帯域幅を使用します。ただし、ネットワークルーターがマルチキャストを許可するように設定されていない場合は、マルチキャストはルーターを通過できません。たとえば、インターネットでマルチキャストを行うことはできません。また、すべてのマルチキャスト閲覧者は、最大10の同時接続を行うユニキャストでの1人分としてカウントされます。 | |

AXIS Media Controlは、本製品とネゴシエーションを行い、使用するトランスポートプロトコルを決定します。AMCコントロールパネルに表示される優先順位を変更し、オプションを無効にして、特定の要件を満たすことができます。

注意

H.264はライセンスされた技術です。本製品には、H.264閲覧用のクライアントライセンスが1つ添付されています。ライセンスされていないクライアントのコピーをインストールすることは禁止されています。ライセンスを追加購入するには、Axisの販売代理店までお問い合わせください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

メディアストリームについて

MJPEG形式について

この形式では、標準のJPEG静止画像を使用してビデオストリームを生成します。これらの画像を十分なレートで表示、更新することで、連続的に更新される動きを表示するストリームが作成されます。

Motion JPEGストリームは、かなりの帯域幅を消費しますが、画質に優れ、ストリームに含まれるすべての画像にアクセスできます。本製品からMotion JPEGライブビデオにアクセスするには、WindowsでInternet Explorerを開き、AXIS Media Control (AMC) を使用することをお勧めします。

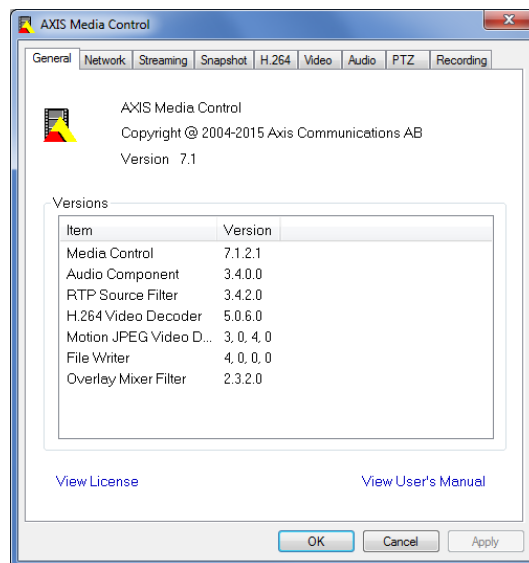
AXIS Media Control (AMC) について

本製品からライブビデオにアクセスするには、WindowsでInternet Explorerを開き、AXIS Media Control (AMC) を使用することをお勧めします。

AMCのコントロールパネルで、各種のビデオ設定と音声設定を行うことができます。詳細については、『AXIS Media Controlユーザーズマニュアル』を参照してください。

AMCのコントロールパネルは、初回使用時に自動インストールされ、その後、設定可能となります。AMCのコントロールパネルは、以下のいずれかの方法で開くことができます。

- Windowsのコントロールパネル ([スタート] 画面または [スタート] メニューから)
- または、Internet Explorerでビデオ画像を右クリックし、[Settings (設定)] をクリックします。



ビデオストリームにアクセスする他の方法

次の方法でも、Axis製品からビデオ/画像にアクセスできます。

- **Motion JPEG サーバープッシュ** (ChromeやFirefoxなどのクライアントでサポートされている場合)。このオプションは、ブラウザへのオープンHTTP接続を維持し、必要なときに、必要な時間だけ、データを送信します。
- **ブラウザでの静止JPEG画像**。パス (`http://<ip>/axis-cgi/jpg/image.cgi`) を入力します。
- **Windows Media Player**。AXIS Media ControlとH.264デコーダーのインストールが必要です。以下のパスを使用できます。
 - RTPによるユニキャスト: `axrtpu://<ip>/axis-media/media.amp`

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

メディアストリームについて

- RTSPによるユニキャスト: `axrtsp://<ip>/axis-media/media.amp`
- RTSPによるユニキャスト、HTTPによるトンネリング:
`axrtsphhttp://<ip>/axis-media/media.amp`
- マルチキャスト: `axrtpm://<ip>/axis-media/media.amp`
- **QuickTime™**。以下のパスを使用できます。
 - `rtsp://<ip>/axis-media/media.amp`
 - `rtsp://<ip>/axis-media/media.3gp`

注意

- <ip>= IPアドレス
- Axis製品はQuickTime 6.5.1以上をサポートしています。
- QuickTimeでは、ビデオストリームに遅延が生じることがあります。
- 他のプレイヤーで上記のパスを使用してH.264ストリームを表示できる場合がありますが、Axisは何の保証も行いません。

音声ストリームへのアクセス

Live View (ライブビュー) ページでAXIS Media Controlを使用して音声にアクセスできますが、以下の方法でもアクセスすることができます。

- **VAPIX® アプリケーションプログラミングインターフェース (API)** の詳細については、www.axis.com/developerをご覧ください。
- **Windows Media Player** は、単方向音声をサポートします。以下のパスを使用できます。
 - RTPによるユニキャスト: `axrtpu://<ip>/axis-media/media.amp`
 - RTSPによるユニキャスト: `axrtsp://<ip>/axis-media/media.amp`
 - RTSPによるユニキャスト、HTTPによるトンネリング: `axrtsphhttp://<ip>/axis-media/media.amp`
 - マルチキャスト: `axrtpm://<ip>/axis-media/media.amp`
- **QuickTime™** は、G.711とAACの音声エンコード方式に対応しています。以下のパスを使用できます。
 - `rtsp://<ip>/axis-media/media.amp`
 - `rtsp://<ip>/axis-media/media.3gp`

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

製品の設定方法

製品の設定方法

本製品は、管理者権限またはオペレーター権限を持つユーザーが設定できます。本製品の設定ページを開くには、ライブビューウィンドウの右上隅の **[Setup (設定)]** をクリックします。

- **管理者**には、すべての設定に対する無制限のアクセス権があります。
- **オペレーター**が設定できる項目は制限されています (45ページのユーザーを参照してください)。

オンラインヘルプ () も参照してください。

基本設定の方法

基本設定には、Axis製品の使用前に行う設定へのショートカットが表示されています。

1. ユーザー。45ページを参照してください。
2. TCP/IP。48ページを参照してください。
3. 日付と時刻。48ページを参照してください。
4. ビデオストリーム。18ページを参照してください。
5. 音声の設定。26ページを参照してください。

[基本設定] メニューは、**[System Options > Security > Users (システムオプション > セキュリティ > ユーザー)]** で無効にできます。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ビデオと音声

ビデオと音声

ビデオと音声の設定を使用して、ビデオと音声の品質を最適化することができます。以下の設定が可能です。

- ビデオストリームの設定 - 詳細については、18ページを参照してください。
- ストリームプロファイル - 詳細については、21ページを参照してください。
- ONVIFメディアプロファイル - 詳細については、21ページを参照してください。
- カメラの設定 - 詳細については、21ページを参照してください。
- プライバシーマスク - 詳細については、25ページを参照してください。
- 音声の設定 - 詳細については、26ページを参照してください。

ビデオストリームの設定方法

本製品のビデオストリームを設定するには、[Video & Audio (ビデオと音声)] > [Video Stream (ビデオストリーム)] に移動します。

ビデオストリームの設定は、以下のタブに分かれています。

- Image (画像)。18ページを参照してください。
- Audio (音声)。26ページを参照してください。
- H.264。19ページを参照してください。
- Zipstream。20ページを参照してください。
- MJPEG。21ページを参照してください。

ピクセルカウンターについて

ピクセルカウンターには画像領域のピクセル数が表示されます。ピクセルカウンターは、たとえば、顔認証など、画像が一定サイズであることが必要な場合に役に立ちます。

ピクセルカウンターは、以下のときに使用できます。

- ビデオストリームの設定時 (18ページのビデオストリームの設定方法を参照してください)。[Preview (プレビュー)] の [Open (開く)] をクリックして、[Show pixel counter (ピクセルカウンターを表示する)] オプションを選択すると、画像に矩形が表示されます。マウスで矩形を動かしてサイズを変更するか、[Width (幅)] フィールドと [Height (高さ)] フィールドにピクセル数を入力して、[Apply (適用)] をクリックします。
- WindowsにAXIS Media Control (AMC) がインストールされている状態で、Internet Explorerでライブビューページにアクセスするとき。画像を右クリックして [Pixel counter (ピクセルカウンター)] を選択します。マウスで矩形の位置とサイズを調整します。

画像

デフォルトの画像設定は、[Video & Audio (ビデオと音声)] > [Video Stream (ビデオストリーム)] で設定できます。[Image (画像)] タブを選択します。

以下の設定を行うことができます。

- **Resolution (解像度)**。デフォルトの解像度を選択します。
- **Compression (圧縮)**。圧縮率は画質、帯域幅、および保存した画像のファイルサイズに影響します。圧縮率が小さいほど画質は向上しますが、必要な帯域幅とファイルサイズは大きくなります。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ビデオと音声

- **Rotate image (画像を回転)**。必要な場合は、画像を回転できます。
- **Maximum frame rate (最大フレームレート)**。帯域幅の問題を防止するために、各閲覧者のフレームレートを一定の値に制限することができます。逆に、フレームレートを **[Unlimited (制限しない)]** に設定することもでき、その場合、その時点の状況で可能な限り高いフレームレートで画像が送信されます。
- **Overlay settings (オーバーレイの設定)**。23ページのオーバーレイテキストについてを参照してください。

[Save (保存)] をクリックして、新しい設定を適用します。

H.264について

H.264は、MPEG-4 Part 10/AVCとも呼ばれるビデオ圧縮の標準規格で、低いビットレートで高品質なビデオストリームを実現します。H.264ビデオストリームは、IフレームやPフレームなど、さまざまなタイプのフレームから構成されます。Iフレームは完全な画像ですが、Pフレームには前のフレームとの差分のみが含まれています。

GOP長について

Group of Pictures (GOP) には、1つのIフレームとそれに続くいくつかのPフレームが含まれます。GOP長とは、2つのIフレームの間のフレーム数です。

GOP長とフレームレートが等しい値の場合、1 GOP/秒ということになります。同じフレームレートのままでGOP長の値を高い値に設定すると、サイズが小さいPフレームの数が増え、サイズが大きいIフレームの数が減ります。つまり、GOP長の値を高い値に設定すると、帯域幅は節約できますが、映像品質が下がる可能性があります。GOP長を低い値に設定すると、映像品質は向上しますが、必要な帯域幅が多くなります。

H.264プロファイルについて

本製品では、以下のH.264プロファイルをサポートしています。

- **ベースライン**: クライアントがCABACエントロピーコーディングをサポートしていない場合は、ベースラインプロファイルを使用します。
- **メイン**: メインプロファイルではCABACが使用され、映像品質を保ちながら圧縮率が高くなります。デコーディングには、ベースラインプロファイルより多くの処理能力を必要とします。
- **ハイ**: ハイプロファイルはメインプロファイルとベースラインプロファイルのどちらよりも圧縮率が高くなりますが、デコードにより多くの処理能力が必要となります。ハイプロファイルは、メインプロファイルよりさらにビットレートを低減する8x8ブロックをサポートしています。

ビットレート制御について

ビットレート制御は、ビデオストリームが過大な帯域幅を占有しないようにするのに役立ちます。

内蔵のビットレート制御はZipstreamと組み合わせることができます。Zipstreamについては、20ページのZipstreamについてを参照してください。Zipstreamの可能性を最大限に発揮するために、ビットレートの制限を高め設定することをお勧めします。

可変ビットレートについて

可変ビットレート (VBR) は、画像の複雑さをもとにビットレートを調整します。撮影シーン内の動きが多くなると、VBRが映像の複雑さに応じてビットレートを調整するため、撮影シーン内の動きが多くなると帯域幅の使用量が増え、撮影シーン内の動きが少くなると帯域幅の使用量が減ります。帯域幅に余裕があり、ビットレートの増加が問題でない場合は、可変ビットレートが適しています。

最大ビットレートについて

帯域幅が限られている場合、最大ビットレート (MBR) を使用することをお勧めします。最大ビットレートを使用すれば、ビットレートの目標値を設定して、帯域幅の使用量を制御できます。この目標値によってビットレートが制限されますが、連続したビデオストリームを優先する柔軟性は維持されます。そのため、フレームレートを

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ビデオと音声

下げる必要が生じ、画質が低下する場合があります。この状況をいくらか緩和するために、優先する変数を選択できます。優先度を設定しない場合、フレームレートと画質が同じ程度の影響を受けることになります。

H.264プロファイルの設定方法

1. ストリームプロファイルを使用しないH.264ストリームの設定を変更するには、**[Video & Audio] > [Video Stream] > [H.264]** (ビデオと音声 > ビデオストリーム > H.264) に移動します。
2. GOP当たりのフレーム数を増減するには、**[GOP length (GOP長)]** を設定します。
3. H.264プロファイルの1つを選択します。
4. 次のいずれかを選択します。
 - **[Variable bit rate (可変ビットレート)]**
 - **[Maximum bit rate (最大ビットレート)]**
5. **[最大ビットレート]** を選択した場合、**[優先度]** ドロップダウンリストから優先する変数を選択します。
6. **[保存]** をクリックします。

テキストオーバーレイに現在のビットレートを表示する方法

1. **[Video & Audio] > [Video Stream] > [Overlay Settings]** (ビデオと音声 > ビデオストリーム > オーバーレイ設定) に移動します。
2. **[Include text] (テキストを含める)** フィールドに「#b」と入力します。
3. **[保存]** をクリックします。

Zipstreamについて

Axis独自のZipstreamは、ビデオ監視に最適化されたビットレート低減テクノロジーです。Zipstreamは、不要なデータを除去することによりH.264ストリームの平均ビットレートを低減し、高解像度のストリーム、ストレージコストの低減、長時間の録画保存を実現します。

Zipstreamは、平均ビットレートを低減するために、たとえば、背景など、映像監視の観点からは重要性が乏しい画像部分のビットレートを低減します。顔やナンバープレートなど、フォレンジック映像分析に重要な詳細画像は、より高いビットレートで保存されます。

Axis独自のH.264対応ZipstreamはH.264標準に適合し、H.264映像をデコードするサードパーティーのクライアントやVMSソリューションと互換性があります。

ビットレート低減の使用を推奨

Zipstreamは、[低] から [最高] まで、ビットレート低減プリセットをいくつか備えています。[低] のビットレート低減がデフォルトで有効になっていて、ビットレート低減中のすべてのアプリケーションで安全に使用できます。

クラウド接続型カメラやエッジストレージを使用するカメラの場合は、**[Extreme (極限)]** のビットレート低減を使用して、ストレージ時間を最大にすることをお勧めします。この設定は、ビットレートがシーンの複雑さに適応できるようにする可変ビットレート (VBR) や動体検知トリガーとの組み合わせに適しています。

Zipstreamを使用して帯域幅とストレージの容量を節減する方法

本製品に内蔵されたビットレートコントローラーはZipstreamと組み合わせて、最大ビットレート (MBR) を制限できます。Zipstreamの可能性を最大限に発揮するために、ビットレートの制限を高めめに設定して、VBRまたはMBRを使用することをお勧めします。

たとえば、時々撮影シーンに動きが多くなることもあり、顔の特徴などの詳細を撮影することが重要となる鉄道監視の場合、MBRは10Mbit/秒 (30フレーム/秒、解像度1080pの場合) に設定する必要があります。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ビデオと音声

さらに帯域幅を節約するには、[Setup] (設定) > [Video & Audio] (ビデオと音声) > [Video Stream] (ビデオストリーム) に移動し、次の操作を1つ以上行います。

- [Image] (画像) タブに移動し、[Maximum frame rate] (最大フレームレート) を低い値に設定します。
- [H.264] タブに移動し、[GOP長] 値を高い値に設定します。
- [Zipstream] タブに移動し、[Extreme] H.264ビットレート低減を選択します。
- [Zipstream] タブに移動します。[Dynamic GOP] を有効にして、[ダイナミックGOP最大長] 値を高く設定します。
- [Zipstream] タブに移動して、[ダイナミックFPS] を有効にします。

ビデオストリームの設定を変更後、ビデオストリームが監視目的の品質要件を満たしているか必ず確認してください。

MJPEGの設定について

光量不足や複雑なシーンの場合、画像サイズが巨大になる場合があります。最大フレームサイズを調節すると、このような状況でMotion JPEGビデオストリームによって使用される帯域幅とストレージ容量をうまく抑えることができます。フレームサイズを [Default (デフォルト)] に設定すると良い画質が保たれますが、光量が少ない間は帯域幅とストレージ容量の消費量が增大します。フレームサイズを制限すると、帯域幅とストレージ容量は最適になりますが、画質が悪化する場合があります。

ストリームプロファイルについて

ストリームプロファイルは、解像度、圧縮率、フレームレート、オーバーレイ設定など、事前設定された一連のストリーム設定です。ストリームプロファイルは、以下のような場合に使用できます。

- アクションルールを使用して録画を設定する場合。36ページの、[イベントについて](#)を参照してください。
- 連続録画を設定する場合。42ページの[連続録画について](#)を参照してください。
- ライブビューページで、[ストリームプロファイル] ドロップダウンリストからストリームプロファイルを選択します。

新しいプロファイルを作成したり、既存のプロファイルを修正するには、[Setup (設定)] > [Video & Audio (映像と音声)] > [Stream Profiles (ストリームプロファイル)] に移動します。

ライブビューページのデフォルトのストリームプロファイルを選択するには、[Setup > Live View Config (設定 > ライブビューの設定)] に移動します。

ONVIFメディアプロファイルについて

ONVIFメディアプロファイルは、メディアストリーム設定の変更に使用する一連の設定から構成されています。ONVIFメディアプロファイルは、クライアントがメディアストリームのプロパティを設定するために使用します。

[ONVIFメディアプロファイル] ページには、設定済みのすべてプロファイルが一覧表示されています。本製品にはこれらのプロファイルが付属し、迅速に設定を行うことができます。このページで、ONVIFメディアプロファイルを追加、変更、削除できます。

カメラ設定について

[Video & Audio > Camera Settings (映像と音声 > カメラの設定)] ページでは、本製品の高度な画像設定を行うことができます。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ビデオと音声

キャプチャーモードについて

キャプチャーモードは、本製品で使用できる最大フレームレートを定義し、光感度に影響を与えます。最大フレームレートが高いキャプチャーモードでは光感度が低く、逆に最大フレームレートが低い場合は光感度が高くなります。

製品に初めてアクセスしたときに、キャプチャーモードを設定します。目的のキャプチャーモードを選択し、[OK]をクリックします。

重要

本製品の設定が済んだあとでキャプチャーモードを変更すると、他の設定のほとんどが削除またはリセットされるため、変更は推奨しません。

キャプチャーモードを変更するには、以下の手順に従います。

1. [Setup (設定)] > [Video & Audio (映像と音声)] > [Camera Settings (カメラの設定)] に移動します。
2. 新しいキャプチャーモードを選択します。

注意

キャプチャーモードを変更すると、変更内容を有効にするためにカメラを再起動する必要があります。

画像の外観について

画像の外観を変更するには、[Setup (設定)] > [Video & Audio (映像と音声)] > [Camera Settings (カメラ設定)] に移動します。

[Color level (カラーレベル)] を大きくすると、色の彩度が上がります。値を100にすると色の彩度が最大になり、値を0にすると白黒画像になります。

画像の[Brightness (輝度)] を0~100の範囲で調節できます。値が高いほど、明るい画像になります。

[Sharpness (シャープネス)] の値を大きくすると、帯域幅の使用量が増えます。光量の少ない環境では、シャープな画像ほど画像ノイズが増大する可能性があります。設定値を小さくすると画像ノイズが減りますが、画像のシャープさが失われます。

ホワイトバランスについて

この設定を変更するには、[Setup (設定)] > [Video & Audio (映像と音声)] > [Camera Settings (カメラ設定)] に移動します。

ホワイトバランスは、光源の色温度が異なると変化してしまう色を同じ色に見えるようにするために使用します。本製品では、自動的に光源を識別して色を補正するように設定できます。また、ドロップダウンリストから、光源の種類を選択することもできます。使用可能な各設定については、オンラインヘルプ(?)を参照してください。

ワイドダイナミックレンジ

ワイドダイナミックレンジ(WDR)を使用して、画像のコントラストがかなり強い場合の露出を向上させることができます。逆光が強い場合には、WDRを有効にします。光量の低い状態で最適な露出を得るにはWDRを無効にします。

露出の設定

照明、フレームレート、帯域幅を考慮して、画質の要件に合う露出を設定します。

露出コントロール - この設定で、使用可能な光量に適応します。[Automatic (自動)] でほとんどの状況に対応できます。最適な画質になるように、シャッター速度が自動的に設定されます。

最大露出時間 - [Exposure control (露出コントロール)] が [Automatic (自動)] に設定されているときに使用できます。ドロップダウンリストから最大露出時間を選択します。時間を長くすると、画質が向上しますが、フレームレートは減少します。動きによる画像のブレが増大する場合もあります。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ビデオと音声

露出時間 - [Exposure control (露出コントロール)] が [Manual (手動)] に設定されているときに使用できます。ドロップダウンリストから露出時間を選択します。時間を長くすると、画質が向上しますが、フレームレートは減少します。動きによる画像のブレが増大する場合があります。

最大ゲイン - ゲインは、信号(この場合は、画像中の視覚情報)に適用される増幅の量です。単位はデシベル (dB) で表されます。増幅のレベルを上げると、非常に暗い場面で画質が向上する場合があります。ただし、ゲインの値が高いと画像ノイズも増大します。

露出エリア - 露出計算に使用する映像の部分を設定できます。デフォルト設定は、[Center (中央)] です。

露出の優先度 - [Motion (動き)] を優先して、最大 [Shutter (シャッター)] 時間を最小値に設定すると、動きによる映像のブレを最小にできます。人や車両などの動体を認識する際に有用です。ただし、動きを優先すると、特に低光量環境で映像のノイズが多くなる原因となることがあります。
[低ノイズ] を優先して、[ゲイン] を最小値に設定すると、映像のノイズを最小化できます。ファイルサイズも小さくなるため、ストレージの容量や帯域幅が限られている場合に便利です。ただし、低ノイズを優先すると、特に低光量環境下で映像が非常に暗くなる原因となることがあります。

画像の設定について

PTZ動作時の映像静止 - [All movements] (すべての動き) を選択すると、パン、チルト、またはズーム操作でカメラが動いている間、映像が静止します。カメラが新しいポジションまで移動すると、そのポジションからのビューが表示されます。[Presets] (プリセット) を選択すると、カメラがプリセットポジション間を移動するときだけ映像が静止します。

オーバーレイについて

オーバーレイは、ビデオストリームに重ねて表示されます。オーバーレイは、タイムスタンプなどの録画時の補足情報や、製品のインストール時および設定時の補足情報を表示するために使用します。

オーバーレイテキストについて


オーバーレイテキストには、現在の日付と時刻や文字列を含めることができます。文字列を使用する場合、いわゆる修飾子を使用して、現在のビットレートやフレームレートなどの情報を表示できます。

テキストオーバーレイのサイズは、以下の表から選択できます。

| サイズ | テキストの高さ | 背景の高さ |
|-----|---------|--------|
| 小 | 10ピクセル | 20ピクセル |
| 中 | 16ピクセル | 28ピクセル |
| 大 | 21ピクセル | 36ピクセル |

アクションルールがトリガーされたときにテキストを表示することもできます。24ページのアクションルールにオーバーレイテキストを含める方法を参照してください。

オーバーレイテキストを含める方法

1. [Video & Audio (ビデオと音声)] > [Video Stream (ビデオストリーム)] に移動し、[Image (画像)] タブを選択します。
2. 日付と時刻を含めるには、[Include date (日付を表示する)] と [Include time (時刻を表示する)] を選択します。
3. 文字列を表示するには、[Include text (テキストを表示する)] を選択し、フィールドにテキストを入力します。使用できる修飾子については、オンラインヘルプ  の「ファイル名と日付/時刻の書式指定」を参照してください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ビデオと音声

4. テキスト文字列のサイズ、色、および配置を選択します。
5. **[Save] (保存)** をクリックします。

日付と時刻の形式を変更するには、**[System Options > Date & Time (システムオプション > 日付と時刻)]** に移動します。48ページの**日付と時刻**を参照してください。

アクションルールにオーバーレイテキストを含める方法

1. **[Video & Audio (ビデオと音声)] > [Video Stream (ビデオストリーム)]** に移動し、**[Image (画像)]** タブを選択します。
2. **[Overlay Settings (オーバーレイの設定)]** の **[Include text (テキストを表示する)]** を選択します。
3. 修飾子「#D」を入力します。ルールがトリガーされると、「#D」はアクションルールで指定されたテキストに置き換えられます。
このフィールドの追加テキストは、アクションルールがアクティブでないときにも表示されます。
4. **[Events (イベント)] > [Action Rules (アクションルール)]** に移動し、アクションルールを作成します。
5. **[Actions (アクション)]** リストから **[Overlay Text (オーバーレイテキスト)]** を選択します。
6. **[Text (テキスト)]** フィールドに、表示するテキストを入力します。
7. **[Duration (継続時間)]** を指定します。テキストはルールがアクティブな期間、または一定の秒数だけ表示されます。

パン位置またはチルト位置をテキストオーバーレイとして表示する方法

録画されたビデオなどから、イベントが発生したパン位置またはチルト位置(度)を取得することが役に立つ場合があります。これは、修飾子を使用して、画像内の位置をオーバーレイテキストとして含めることで取得できます。パン位置をテキストオーバーレイとして表示するには

1. **[Setup] (設定) > [Video] (ビデオ) > [Video Stream] (ビデオストリーム)** に移動します。
2. **[Overlay Settings] (オーバーレイの設定)** で、**[Include text] (テキストを表示する)** を選択します。
パン位置を表示するには、「#x」と入力します。
チルト位置を表示するには、「#y」と入力します。
3. テキストオーバーレイのオプションのサイズ、色、および位置を設定します。
4. **[Save] (保存)** をクリックします。
5. **[Live View] (ライブビュー)** ページに移動して、設定を確認します。

オーバーレイ画像について

オーバーレイ画像は、ビデオストリームに重ねて表示される静止画像です。企業のロゴなどの画像は、まず本製品にアップロードしてから、追加情報を表示したり、映像の一部を隠したりするために使用します。

画像仕様

- アップロードする画像は、Windowsの24ビットBMP形式で最大250色の画像を使用する必要があります。
- 画像の幅と高さのピクセル数は4で割り切れる必要があります。
- テキストオーバーレイと画像オーバーレイを組み合わせる場合、テキストオーバーレイは常に画像オーバーレイの上に位置します。テキストオーバーレイは常に画面幅いっぱい広がるため、画像の場所を確保するためにオーバーレイ部分を縮めることはできません。テキストオーバーレイの各種の高さについては、23ページの**オーバーレイテキスト**についてを参照してください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ビデオと音声

オーバーレイ画像は静止画であるため、その位置とサイズは解像度やパン/チルト/ズームに関係なく維持されます。

監視領域の一部を隠すには、プライバシーマスクを使用します。25ページのプライバシーマスクについてを参照してください。

オーバーレイ画像をアップロードする方法

1. [Video & Audio > Overlay Image (ビデオと音声 > オーバーレイ画像)] に移動します。
2. [Browse (参照)] をクリックして、画像ファイルを参照します。
3. [Upload (アップロード)] をクリックします。
4. [Transparency Settings (透明性の設定)] ページが表示されます。
 - オーバーレイ画像の色を透明にするには、[Use transparency (透明色を使用する)] を選択し、その色のRGB16進値を入力します。例: 白を透明にするには、FFFFFFを入力します。
16進値の例については、オンラインヘルプ(?) を参照してください。
 - 画像を自動的に拡大/縮小するには、[Scale with resolution (解像度に伴う拡大/縮小)] を選択します。画像は、本製品が使用する解像度に合わせて縮小されます。
5. [Save (保存)] をクリックします。

オーバーレイ画像を含める方法

1. [Video & Audio > Overlay Image (ビデオと音声 > オーバーレイ画像)] に移動します。
2. [Use overlay image (このオーバーレイ画像を使用する)] リストから、使用する画像を選択し、[Save (保存)] をクリックします。
3. [Video & Audio > Video Stream (ビデオと音声 > ビデオストリーム)] に移動し、[Image (画像)] タブを選択します。
4. [Overlay Settings (オーバーレイの設定)] の [Include overlay image at the coordinates (次の位置にオーバーレイ画像を表示する)] を選択します。
5. 画像の位置を制御するには、X (水平) 座標とY (垂直) 座標を入力します。x=0とy=0位置は、左上隅です。画像の一部がビデオ映像からはみ出した位置に配置された場合、オーバーレイ画像が画像全体で表示されるように移動します。
6. [Save] (保存) をクリックします。

プライバシーマスクについて

プライバシーマスクは色で塗りつぶされた領域であり、監視領域の一部を見えないように隠します。VAPIX® アプリケーションプログラミングインターフェース (API) を使用して、プライバシーマスクをバイパスすることはできません。

[Privacy Mask List (プライバシーマスクのリスト)] ([Video & Audio (映像と音声)] > [Privacy Mask (プライバシーマスク)]) には、本製品で現在設定されているすべてのプライバシーマスクが表示され、それらが有効かどうかを示されています。

プライバシーマスクのサイズと位置はパン/チルト/ズームの座標で定義されるので、プライバシーマスクは監視領域に対して動的です。つまり、レンズの角度とズームに関係なく、同じ場所または物体が隠されます。マスクの表示倍率を設定するには、希望のレベルまでズームして、[Set level (ズーム倍率を設定します)] をクリックします。

新しいプライバシーマスクの追加、マウスを使用したプライバシーマスクのサイズ変更、プライバシーマスクの色の選択、プライバシーマスクの命名ができます。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ビデオと音声

詳細については、オンラインヘルプ(?)を参照してください。

重要

多数のプライバシーマスクを追加すると、本製品のパフォーマンスに影響する場合があります。

音声設定の変更方法

本製品の音声の設定を変更するには、[Video & Audio > Audio Settings (ビデオと音声 > 音声の設定)]に移動します。

ビデオストリームに音声ストリームを含めるには、[Video & Audio] > [Video Stream] (ビデオと音声 > ビデオストリーム)に移動します。[Audio] (音声) タブで、[Enable audio] (音声を有効にする)を選択します。

各ストリームプロファイルは別々のビデオストリームです。音声ストリームをすべてのストリームプロファイルに含めるには、それぞれの[Stream profile settings] (ストリームプロファイルの設定) ページの[Audio] (音声) タブに移動し、音声を有効にします。詳細については、21ページのストリームプロファイルについてを参照してください。

音声入力

音声入力の設定は、[Audio (音声)] > [Audio Settings (音声の設定)]で行います。

[Source (ソース)]には内蔵マイクロフォンが一覧表示されます。

[Input gain (入力ゲイン)]を使用して、dBフルスケールで示される音声入力の音量を調整します。音声が小さすぎる場合は、高いdB値を選択して音声を増幅します。音声が大きすぎる場合は、dB値を下げます。

[Encoding (エンコーディング)] オプションを使用して、デジタル音声のエンコード方式を選択します。

- 本製品で使用できるエンコードはAACのみです。デコードについては、本製品にはライセンスが含まれていません。
- [G711]は、VoIPシステムで音声を使用する際に役立つ、ライセンス不要の標準コーデックです。
- [G726]は、セキュリティ業界で最も一般的に利用されている、ライセンス不要の音声コーデックです。

[Sample rate (サンプリングレート)]は、1秒あたりの音声のサンプリング回数を定義します。サンプリングレートを高くすると音声品質は向上しますが、帯域幅の使用量が增大します。

選択したエンコード方式に応じて、必要な[Bit rate] (ビットレート)を設定してください。ビットレートを高くすると、音声品質が向上します。ビットレートを低くすると遅延が発生するおそれがありますが、帯域幅の使用量は減少します。

これらの設定の詳細については、オンラインヘルプ(?)を参照してください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ライブビューウィンドウを設定する方法

ライブビューウィンドウを設定する方法

ライブビューウィンドウの以下の項目を設定できます。

- **Stream Profile (ストリームプロファイル)**。27ページを参照してください。
- **ブラウザのDefault Viewer (デフォルトビューア)**。27ページを参照してください。
- **Viewer Settings (ビューアの設定)**。27ページを参照してください。
- **Action Buttons (アクションボタン)**。11ページを参照してください。
- **User Defined Links (ユーザー定義リンク)**。28ページを参照してください。

ブラウザのデフォルトビューアを設定する方法

[Live View Config (ライブビューの設定)] > [Default Viewer (デフォルトビューア)] で、ブラウザでビデオ映像を閲覧するデフォルトの方法を選択します。本製品は、選択されたビデオ形式とビューアでビデオ映像の表示を試みます。それができない場合は、設定を一時変更し、使用可能な最良の組み合わせを選択します。

| ブラウザ | ビューア | 説明 |
|---------------------------|-----------|---|
| Windows Internet Explorer | AMC | Internet Explorerでの推奨ビューア (H.264/Motion JPEG) |
| | QuickTime | H.264。 |
| | 静止画像 | 静止画像のみを表示します。ブラウザの [最新の情報に更新] ボタンをクリックして、新しい画像を表示します。 |
| その他のブラウザ | サーバープッシュ | その他のブラウザでの推奨ビューア (Motion JPEG)。 |
| | QuickTime | H.264。 |
| | 静止画像 | 静止画像のみを表示します。ブラウザの [最新の情報に更新] ボタンをクリックして、新しい画像を表示します。 |

詳細については、オンラインヘルプ(?) を参照してください。

ビューアの設定について

ビューアのオプションを設定するには、[Live View Config > Viewer Settings (ライブビューの設定 > ビューアの設定)] に移動します。

- [Show viewer toolbar (ビューアのツールバーを表示する)] を選択すると、ブラウザ内のビデオ画像の下にAXIS Media Control (AMC) またはQuickTimeのビューアツールバーが表示されます。
- **H.264 デコーダーのインストール**。管理者は、AXIS Media Controlに含まれているH.264デコーダーのインストールを無効にすることができます。この機能は、ライセンスのない不正コピーのインストールを防止するために使用します。追加デコーダーライセンスは、Axis販売代理店から購入できます。
- [Show crosshair in PTZ joystick mode (PTZジョイスティックモードで十字線を表示する)] を選択すると、PTZジョイスティックモードで、画像の中心を示す十字線が表示されます。
- [Use PTZ joystick mode as default (PTZジョイスティックモードをデフォルトモードにする)] を選択すると、ジョイスティックモードが有効になります。モードは、PTZコントロールパネルから一時的に変更できます。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

ライブビューウィンドウを設定する方法

- [Enable recording button (録画ボタンを使用する)] を選択すると、ライブビューページからの録画が有効になります。このボタンはAMCビューアの使用時に使用できます。録画は、AMCコントロールパネルで指定した場所に保存されます。15ページの*AXIS Media Control (AMC)* についてを参照してください。

ユーザー定義リンクについて

ユーザーが定義したリンクをライブビューページに表示するには、[Show custom link (カスタムリンクを表示)] オプションを選択し、リンク名とリンク先のURLを入力します。Webリンクを指定する場合は、「http://」を付けてURLアドレスを入力します。カスタムリンクは、スクリプトを実行したり、本製品に接続された外部デバイスを作動させる目的で使用できます。また、Webページへのリンクとして使用することもできます。カスタムリンクをCGIリンクとして定義すると、非表示のフレーム上でスクリプトをバックグラウンドで実行できます。リンクをWebリンクとして定義すると、リンクが新しいウィンドウで開きます。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

PTZ (パン、チルト、ズーム) について

PTZ (パン、チルト、ズーム) について

プリセットポジションについて

プリセットポジションとは、あらかじめ設定したカメラの視野であり、カメラを特定の位置にすばやく移動するために使用します。プリセットポジションは、以下の値で構成されます。

- ・ パン、チルト位置
- ・ ズーム位置
- ・ フォーカス位置 (自動または手動)

プリセットポジションの指定方法

以下の方法で、プリセットポジションを指定できます。

- ・ ライブビューページの [プリセットポジション] ドロップダウンリストからプリセットを選択する。
- ・ アクションルールの設定時。36ページを参照してください。

プリセットポジションの追加方法

1. [Setup > PTZ > Preset Positions (設定 > PTZ > プリセットポジション)] に移動します。
2. 画像内をクリックするか、コントロールを使用して、カメラの視野を目的の位置まで移動します。
3. [現在のポジション] フィールドに名前を入力します。
4. 必要に応じて、[現在のポジションをホームとして使用する] を選択します。
5. [追加] ボタンをクリックして、プリセットポジションを保存します。

プリセットポジションの名前をオーバーレイテキストに含める方法

1. [Video & Audio (映像と音声)] に移動します。
2. [Include text (オーバーレイテキストを含める)] を選択します。
3. フィールドに修飾子「#P」を入力します。
4. [Save (保存)] をクリックします。

ホームポジションの設定方法

ホームポジションには、ライブビューウィンドウと [Preset Positions] (プリセットポジション) 設定ウィンドウの [Home (ホーム)] ボタンをクリックすることによって、簡単にアクセスできます。

カスタマイズされたホームポジションを設定するには、プリセットポジションを追加するときに、[Use current position as Home (現在のポジションをホームにする)] を選択します。設定したホームポジション名には (H) が付きます (たとえば、Entrance (H))。ホームポジションの設定後も、デフォルトのホームポジション (Home) は使用できます。

PTZ機能が指定した時間にわたってアクティブでないときに [ホーム] ポジションに戻るよう設定できます。[Return to home when inactive (操作後、ホームに戻るまでの時間)] フィールドに時間の長さを入力して、[Save (保存)] をクリックします。時間をゼロに設定すると、自動的に [ホーム] ポジションに戻らなくなります。


AXIS M50 PTZ Network Camera Series

PTZ (パン、チルト、ズーム) について

OSDIゾーン

本製品の操作を容易にするため、オンスクリーン方向インジケータ (OSDI) ゾーンをオーバーレイテキストに含めることができます (23ページのオーバーレイテキストについてを参照)。各OSDIゾーンは、座標と説明的な名前を使用して設定します。

OSDIゾーンは、**PTZ > OSDI Zones (PTZ > OSDI ゾーン)** で設定します。視野の中心座標を使用して、ゾーンの左下と右上が設定されます。まず、OSDIゾーンの左下隅のポイントにしたい位置まで移動してください。**Get (取得)** をクリックすると、その座標が設定されます。次に、ゾーンの右上のポイントにしたい位置まで移動し、**Get (取得)** をクリックします。分かりやすいゾーン名を入力して、**OK** をクリックします。

OSDIゾーンの名前をオーバーレイテキストに含めるには、**Video & Audio (ビデオと音声) > Video Stream (ビデオストリーム) > Overlay Settings (オーバーレイの設定)** に移動します。**Include text (テキストを表示する)** ボックスにチェックマークを入れ、フィールドに修飾子#1を入力します。修飾子の詳細については、「**ファイル名と日付/時刻の書式指定**」に関するオンラインヘルプ  を参照してください。

詳細設定


リミット

本製品のパン、チルト、ズーム、フォーカスのリミットを設定します。上下左右への動きを制約することによって、監視する領域を狭めることができます。

[Move speed] (移動速度) では、カメラのパンとチルトの速度を設定します。デフォルトでは、最大速度に設定されています。

ジョイスティックやマウスなどでズームをコントロールする場合、**[Enable adjustable zoom speed] (調整可能なズーム速度を有効にする)** をオンにしてさまざまな速度を使用します。ズーム速度は、VAPIX® Application Programming Interface (API) でコマンド `continuouszoommove` によって自動的に設定されます。オフにすると、最大ズーム速度が使用されます。これは、プリセットに移動するのと同じ速度です。

ジョイスティックの使用時 (またはマウスでジョイスティックをエミュレートする場合は)、**[Enable proportional speed] (比例速度を使用する)** を使用して、パン/チルトの最高速度 (ジョイスティックを任意の方向いっぱい倒したときにカメラの視野が移動する速度) を低下させることができます。これは、対象にズームインする際に便利な設定です。

詳細については、オンラインヘルプ  を参照してください。

PTZの詳細設定について

PTZの詳細設定は、**[PTZ > Advanced > Controls (PTZ > 詳細設定 > コントロール)]** で行うことができます。

[Panel Shortcut Command Buttons (パネルのショートカットコマンドボタン)] リストに、ライブビューページの **[Ctrl panel (コントロールパネル)]** からアクセスできるユーザー定義のボタンが表示されます。これらのボタンを使用して、VAPIX®アプリケーションプログラミングインターフェースを介して発行されるコマンドに直接アクセスできます。新しいショートカットコマンドボタンを追加するには、**[Add (追加)]** をクリックします。

以下のPTZコントロールはデフォルトで有効です。

- ・ パンコントロール
- ・ チルトコントロール
- ・ ズームコントロール
- ・ フォーカスコントロール

特定のコントロールを無効にするには、**[Enable/Disable controls (コントロールの有効化/無効化)]** でオプションを選択解除します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

PTZ (パン、チルト、ズーム) について

注意

PTZコントロールを無効にしても、プリセットポジションには影響しません。たとえば、チルトコントロールを無効にしても、チルトを必要とするプリセットポジションにカメラが移動できます。

コントロールキューについて

注意

- 管理者は、選択したユーザーのPTZコントロールを有効/無効にすることができます。
- 閲覧者グループの各ユーザーを識別するには、クライアントでCookieを有効にする必要があります。
- **[Control queue polltime (コントロールキューのポーリング時間)]** は、秒単位で測定されます。詳細については、オンラインヘルプ(🔗)を参照してください。

管理者は **[PTZ > Control Queue (PTZ > コントロールキュー)]** からPTZコントローラーのキューを設定できます。**[PTZ Control Queue (PTZコントロールキュー)]** ボタンがライブビューウィンドウに表示され、1人の監視者が制限された時間内での排他的制御権を取得できるようになります。他のユーザーはキューに入れられます。

PTZ優先順位の高いグループ(45ページのユーザーを参照)に属しているユーザーは、他のユーザーより前に並んで製品の制御権を取得できます。優先順位は以下のとおりです。

1. **管理者** — コントロールキュー内で他のユーザーが一番前にいる場合でも、PTZをコントロールすることができます。管理者は、最後のPTZコントロールコマンドの60秒後に、コントロールキューから削除されます。
2. **イベント** — 本製品は、アラームによってトリガーされたときにプリセット位置に移動するように設定できます(36ページの、**イベントについて**を参照)。イベントは、管理者がコントロールを行っている場合を除き、コントロールキュー内の一番前に配置されます。
3. **オペレーター** — 管理者と同じですが、管理者より優先順が低いです。
4. **閲覧者** — 閲覧者が複数いる場合は、順番待ちをする必要があります。60秒間PTZをコントロールすると、コントロールキュー内の次の閲覧者にコントロールが移行します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

アプリケーションについて

アプリケーションについて

AXIS Camera Application Platform (ACAP) は、サードパーティによるAxis製品向けの分析アプリケーションやその他のアプリケーションの開発を可能にするオープンプラットフォームです。入手可能なアプリケーション、アプリケーションのダウンロード、試用版アプリケーション、およびライセンスの詳細については、axis.com/applicationsを参照してください。

Axisアプリケーションのユーザーズマニュアルについては、axis.comを参照してください。

注意

- 同時に複数のアプリケーションを実行することも可能ですが、中には互換性のないアプリケーションもあります。アプリケーションの特定の組み合わせによっては、並行して実行すると過度の処理能力やメモリーリソースが必要になる場合があります。アプリケーションを展開する前に、同時に実行できることを確認してください。

アプリケーションのライセンスについて

一部のアプリケーションの実行にはライセンスが必要です。ライセンスは以下の2つの方法でインストールすることができます：

- 自動インストーラー – インターネットへのアクセスが必要です。
- 手動インストーラー – アプリケーションベンダーからライセンスキーを入手して、本製品にアップロードします。

ライセンスを要求するには、本製品のシリアル番号 (S/N) が必要です。シリアル番号は、製品ラベルと [System Options > Support > System Overview (システムオプション > サポート > システムの概要)] で確認できます。

アプリケーションをアップロードして起動する方法

アプリケーションをアップロードして起動するには：

- [Setup > Applications (設定 > アプリケーション)] に移動します。
- [Upload Application (アプリケーションのアップロード)] で [Browse (参照)] をクリックします。アプリケーションファイルの場所を指定して、[Upload Package (パッケージのアップロード)] をクリックします。
- ライセンスをインストールします (該当する場合)。手順については、アプリケーションベンダーによって提供されたマニュアルを参照してください。
- アプリケーションを起動します。[Applications (アプリケーション)] に移動し、インストール済みのアプリケーションのリストからアプリケーションを選択し、[Start (開始)] をクリックします。
- アプリケーションの設定を行います。手順については、アプリケーションベンダーによって提供されたマニュアルを参照してください。

注意

- アプリケーションは製品管理者がアップロードできます。
- AXIS Camera Managementバージョン3.10以降を使用すると、アプリケーションとライセンスを複数の製品に同時にインストールすることができます。

アプリケーションのログファイルを生成するには、[Applications (アプリケーション)] に移動します。アプリケーションを選択して、[Log (ログ)] をクリックします。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

アプリケーションについて

アプリケーションの注意事項

アプリケーションをアップグレードすると、ライセンスを含むアプリケーションの設定は削除されます。ライセンスを再インストールし、アプリケーションを再設定する必要があります。

本製品のファームウェアをアップグレードした場合、アップロードしたアプリケーションとその設定は変更されませんが、Axis Communications はそれを保証するものではありません。アプリケーションは新しいファームウェアに対応している必要があるので、ご注意ください。ファームウェアのアップグレードについては、60ページのファームウェアのアップグレード方法を参照してください。

本製品を再起動すると、実行中のアプリケーションも自動的に再起動されます。

本製品を復元または工場出荷時の設定にリセットすると、アップロードされたアプリケーションとその設定は削除されます。本製品の復元の詳細については、57ページの保守を参照してください。工場出荷時の設定の詳細については、59ページの工場出荷時の設定にリセットする方法を参照してください。

AXIS Audio Volume Detectionについて

AXIS Audio Volume Detectionは、音声の音量が指定された時間にわたって設定された音声基準レベルを上回ったり下回ったりした場合にイベントをトリガーするアプリケーションです。たとえば、生成されたイベントを利用して、映像を録画したり、セキュリティスタッフに警告を送信したりすることができます。

考慮事項

アプリケーションを使用する前に、以下の点を考慮してください。

- ・ 誤った警告が送信されるのを防ぐために、さまざまなゲインおよび閾値設定を試し、使用環境に応じた最適なパフォーマンスが得られるようにしてください。
- ・ 音声入力ゲインを調整して、背景ノイズの範囲がアプリケーションの音声レベルグラフの約30~50%になるようにします。[Input gain (入力ゲイン)] 設定にアクセスするには、アプリケーションページの [Audio Settings (音声設定)] リンクをクリックします。

検知閾値と期間を設定する方法

注意

PTZの動作中に検知を無効にするには、[Detection automatically disabled during PTZ movement (PTZの動作中は検知を自動的に無効化)] を選択します。

1. グレーの線が背景ノイズレベルのすぐ上にあるレベルに検知閾値を設定するには、[Threshold (閾値)] に値を入力するか、スライダーを動かします。
2. 音声の音量が検知閾値を上回ってからトリガーがアクティブになるまでの時間を設定するには、[Above Threshold (s) (閾値より上(秒))] に値を入力するか、スライダーを動かします。
3. 音声の音量が検知閾値を下回ってからトリガーがアクティブになるまでの時間を設定するには、[Below Threshold (s) (閾値より下(秒))] に値を入力するか、スライダーを動かします。
4. [Save (保存)] をクリックします。

アクティブトリガーは、トリガーステータスエリアの赤色のバーによって示されます。トリガーのイベントを設定する方法の詳細については、36ページのアクションルールの設定方法を参照してください。

AXIS Scream Detectionについて

AXIS Scream Detectionは、悲鳴を検知した場合にイベントをトリガーするアプリケーションです。たとえば、生成されたイベントを利用して、映像を録画したり、セキュリティスタッフに警告を送信したりすることができます。

アクティブトリガーは、トリガーステータスエリアの赤色のマーカーによって示されます。トリガーのイベントを設定する方法の詳細については、36ページのアクションルールの設定方法を参照してください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

アプリケーションについて

考慮事項

アプリケーションを使用する前に、以下の点を考慮してください。

- このアプリケーションの主な目的は、一般的に静かな環境で悲鳴を検知することです。背景の音声レベルと悲鳴の差が少なくとも15 dB~20 dBないと、アプリケーションは効果的に機能しません。製品を設置するときには、予想される音源の近さ、背景ノイズレベル、および音声入力ゲインレベルを考慮してください。
- 音声入力ゲインを調整して、背景ノイズの範囲がアプリケーションの音声レベルグラフの約30%~50%になるようにします。[Input gain (入力ゲイン)] 設定にアクセスするには、アプリケーションページの[Audio Settings (音声設定)] リンクをクリックします。
- 悲鳴と悲鳴の間隔が3秒未満の場合は、1つの悲鳴とみなされます。

AXIS Removed Object Detectionについて

AXIS Removed Object Detectionは、設定されたエリア内の物体が除去された場合にイベントをトリガーするアプリケーションです。たとえば、生成されたイベントを利用して、映像を録画したり、セキュリティスタッフに警告を送信したりすることができます。

考慮事項

アプリケーションを使用する前に、以下の点を考慮してください。

- カメラのホームポジションは、デフォルトで削除された物体検知のために使用されます。検知用に新しくカスタマイズされたホームポジションを設定する場合は、29ページのホームポジションの設定方法を参照してください。新しいポジションにはHomeという名前を付けて、同じ名前のデフォルトのホームポジションを置き換えることをお勧めします。新しいポジションに別の名前を付けた場合、その名前の最後に (H) と表示され、デフォルトのホームポジションの名前はHomeのままです。
- 削除された物体検知中にカメラを新しい位置に移動した場合、アプリケーションは実行を停止します。アプリケーションに再びアクセスするときには、ホームポジションに戻るか、アプリケーションを再び実行するための新しいホームポジションを設定する必要があります。

対象エリアを設定する方法

対象エリアは、アプリケーションが削除された物体を監視するエリアです。

対象エリアを追加するには:

1. [Areas (エリア)] で、[Include (対象)] タブに移動し、[Add (追加)] をクリックします。
2. エリア内の削除された物体検知を有効にするには、[Enable (有効にする)] を選択します。
3. 分かりやすいエリア名を入力します。
4. 設定したエリアに対する物体の相対的なサイズを指定するには、[Object size (%) (物体サイズ (%))] に値を入力するか、スライダーを動かします。値が小さいほど、より小さい物体に対してトリガーがアクティブになります。
5. エリアの目的の [Shape (形)] を入力するには、[Rectangle (矩形)] または [Polygon (ポリゴン)] をクリックし、マウスを使用してライブビューに形を描画します。ポリゴンを使用する場合は、ダブルクリックして最後のコーナーをポリゴンの先頭につなぎます。
6. 必要な場合は、コーナーまたは線を目的の位置までドラッグして、エリアのサイズと形を調整します。
7. 追加した形の塗りつぶしの色を選択します。
8. [Save (保存)] をクリックします。

[Include (対象エリア)] 設定をリセットするには、[Reset area (エリアのリセット)] をクリックします。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

アプリケーションについて

追加した対象エリアを削除するには、[Include (対象)] タブから選択して、[Remove (削除)] をクリックします。

除外エリアを設定する方法

除外エリアは、アプリケーションが削除された物体検知から除外するエリアです。

除外エリアを追加するには:

1. [Areas (エリア)] で、[Exclude (除外)] タブに移動し、[Add (追加)] をクリックします。
2. 範囲内の削除された物体検知を除外するには、[Enable (有効にする)] を選択します。
3. 分かりやすいエリア名を入力します。
4. エリアの目的の [Shape (形)] を入力するには、[Rectangle (矩形)] または [Polygon (ポリゴン)] をクリックし、マウスを使用してライブビューに形を描画します。ポリゴンを使用する場合は、ダブルクリックして最後のコーナーをポリゴンの先頭につなぎます。
5. 必要な場合は、コーナーまたは線を目的の位置までドラッグして、エリアのサイズと形を調整します。
6. [Save (保存)] をクリックします。

[Exclude area (除外エリア)] 設定をリセットするには、[Reset area (エリアのリセット)] をクリックします。

追加した除外範囲を削除するには、[Exclude (除外)] タブから選択して、[Remove (削除)] をクリックします。

トリガー判断時間について

[Trigger evaluation time (トリガー判断時間)] - 物体が見えなくなってからトリガーがアクティブになるまでの秒数を設定できます。トリガーのイベントを設定する方法の詳細については、36ページのアクションルールの設定方法を参照してください。

現在のシーンを非改ざんとして設定する方法

アプリケーションは、現在のホームポジションシーンを非改ざんシーンとして徐々に記憶します。そのシーンの何かが変化して、背景をリセットしたい場合は、[Set as untampered scene (非改ざんシーンとして設定)] をクリックします。

オーバーレイについて

[Live View (ライブビュー)] で、オーバーレイを表示または非表示にできます。

- [Show area overlay (エリアオーバーレイの表示)] - 設定された対象エリアまたは除外エリアを [Live View (ライブビュー)] で表示するときに選択します。
- [Show object detection overlay (物体検知オーバーレイの表示)] - 検知された物体を [Live View (ライブビュー)] で表示するときに選択します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

イベントについて

イベントについて

イベントページでは、さまざまなイベントが発生したときに本製品がアクションを実行するように設定できます。たとえば、動きが検知されたときに録画を開始したり、メール通知を送信したりできます。いつどのようにアクションをトリガーするかを定義した一連の条件をアクションルールと呼びます。

アクションルールの設定方法

アクションルールとは、たとえば映像録画や電子メール通知の送信など、製品がアクションを実行するときの条件を定義するものです。複数の条件が定義されている場合、すべての条件が満たされたときにアクションがトリガーされます。

利用可能なトリガーやアクションの詳細については、36ページのトリガーについてと38ページのアクションについてを参照してください。

次の例では、カメラの視野に動きがあったとき、ネットワーク共有に映像を記録するアクションルールを設定する方法を示します。

動体検知を設定して、ネットワーク共有を追加する方法:

1. [Applications (アプリケーション)] に移動し、AXIS Video Motion Detectionを起動し、設定を行います。オンラインヘルプを参照してください。
2. [System Options > Storage (システムオプション > ストレージ)] に移動して、ネットワーク共有を設定します。56ページを参照してください。

アクションルールの設定方法:

1. [Events > Action Rules (イベント > アクションルール)] に移動し、[Add (追加)] をクリックします。
2. [ルールを有効にする] を選択し、ルールの内容がわかりやすい名前を入力します。
3. [Trigger (トリガー)] ドロップダウンリストから [Applications (アプリケーション)] を選択し、次に [VMD] を選択します。
4. 必要に応じて、[Schedule (スケジュール)] と [Additional conditions (追加条件)] を選択します。以下を参照してください。
5. [アクション] の [タイプ] ドロップダウンリストから [映像の録画] を選択します。
6. [ストリームプロファイル] を選択し、[継続時間] を下記のように設定します。
7. [ストレージ] ドロップダウンリストから [ネットワーク共有] を選択します。

アクションルールで複数のトリガーを使用するには、[追加の条件] を選択し、[追加] をクリックして、トリガーを追加します。追加の条件を使用している場合、すべての条件が満たされたときにアクションがトリガーされます。

アクションが繰り返しトリガーされるのを防ぐには、[最小待ち時間] を設定します。アクションが再びアクティブになるまでトリガーを無視する時間を時間、分、秒の形式で入力します。

一部のアクションでは、イベントの直前および直後の時間を含めて記録するように [継続時間] を設定できます。[プリトリガー時間] または [ポストトリガー時間] を選択し、秒数を入力します。[ルールがアクティブである間] が有効で、ポストトリガー時間中に再度アクションがトリガーされた場合、新たなポストトリガー時間が付け加えられて、記録時間が延長されます。

詳細については、オンラインヘルプ(?) を参照してください。

トリガーについて

アクションルールでは、以下のトリガーと条件を使用できます。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

イベントについて

- **Applications (アプリケーション)**- インストールされているアプリケーションを使用して、ルールをトリガーします。 32ページの、*アプリケーションについて*を参照してください
- **Detectors (検知)**
 - **Live Stream Accessed (ライブストリームのアクセス)**- ストリームへのアクセスがあったときやエッジストレージの再生時にアクションルールをトリガーします。 通知の送信などに使用できます。
- **Hardware (ハードウェア)**
 - **Network (ネットワーク)**- ネットワーク接続が失われるか、回復したときに、アクションルールをトリガーします。 SDカードへの録画を開始するなどの用途に使用できます。
- **Input Signal (入力信号)**
 - **Manual Trigger (手動トリガー)**- ライブビューページの [**Manual Trigger (手動トリガー)**] ボタンを使用して、アクションルールをトリガーします。 11ページの*ライブビューウィンドウのコントロールについて*を参照してくださいたとえば、本製品の設置や設定を行っている時にアクションを検証するなどの用途に使用できます。
 - **Virtual Inputs (仮想入力)**- VMS (映像管理システム) がアクションをトリガーするために使用します。 VMSユーザーインターフェースのボタンなどに仮想入力を接続できます。
- **PTZ**
 - **Moving (移動中)**- PTZ動作によってカメラの視野が移動したときに、アクションルールをトリガーします。 たとえば、PTZ動作によってカメラの視野が動いたときに、動体検知によってアクションルールがトリガーされ、録画が開始されるのを防ぐための追加条件として使用できます。
 - **Preset Reached (プリセットに到達)**- カメラがプリセットポジションで停止したときに、アクションルールをトリガーします。 プリセットポジションから画像をアップロードする画像送信アクションを実行するなどの用途に使用できます。
 - **Ready (準備完了)**- PTZ機能を使用する準備が完了したときに、アクションルールをトリガーします。 本製品の起動時にカメラを特定のプリセットポジションに向けるなどの用途に使用できます。
- **Storage (ストレージ)**
 - **Disruption (破損)**- ストレージデバイスに使用不能、取り外し、空き容量不足、ロックなどの問題が検知された場合や、その他の読み取り/書き込み問題が発生した場合に、アクションルールをトリガーします。 これはメンテナンス通知を送信するなどの用途に使用できます。
 - **Recording (録画)**- 本製品がストレージデバイスへの録画を行うときに、アクションルールをトリガーします。 録画状態トリガーは、本製品がストレージデバイスへの録画を開始または停止した場合、LEDを点滅してオペレーターに通知するなどの用途に使用できます。 このトリガーはエッジストレージ録画状態にしか使用できないので、ご注意ください。
- **System (システム)**
 - **System Ready (システムの準備完了)**- 本製品が起動し、すべてのサービスが実行中になったとき、アクションルールをトリガーします。 本製品の再起動時に通知を送信するなどの用途に使用できます。
- **Time (時刻)**
 - **Recurrence (繰り返し)**- アクションルールを定期的トリガーします。 40ページの*繰り返しの設定方法を参照してください*。 画像を5分おきにアップロードするなどの用途に使用できます。
 - **Use Schedule (スケジュール使用)**- 選択したスケジュールに従って、アクションルールをトリガーします。 40ページの*スケジュールを作成する方法を参照してください*。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

イベントについて

アクションについて

いくつかのアクションを設定できます。

- [Overlay Text (オーバーレイテキスト)] - オーバーレイテキストを表示します。24ページのアクションルールにオーバーレイテキストを含める方法を参照してください。
- [PTZ Control (PTZコントロール)]
 - [Preset Position (プリセット位置)] - プリセット位置に移動します。
- [Record Video (ビデオを録画する)] - 選択したストレージにビデオと音声を録画します。音声を録画に含めるには、AAC音声エンコードを使用し、選択したストリームプロファイルで音声が有効になっていることを確認します。
- [Send Images (画像の送信)] - 送信先に画像を送ります。
- [Send Notification (通知を送信する)] - 送信先に通知メッセージを送ります。
- [Send SNMP Trap (SNMPトラップの送信)] - SNMPトラップメッセージをオペレーターに送信します。SNMPが有効であり、[System Options (システムオプション)] > [Network (ネットワーク)] > [SNMP] で設定されていることを確認してください。
- [Send Video Clip (ビデオクリップの送信)] - 送信先にビデオクリップを送ります。
- [Status LED (ステータスLED)] - LEDインジケータを点滅させます。たとえば、本製品の設置や設定中に、動体検知などのトリガーを検証するために使用できます。

送信先を追加する方法

本製品は、イベントについてユーザーに通知するためにメディアファイルとメッセージを送信できます。ただし、本製品がメディアファイルまたは通知メッセージを送信できるようにするには、1件以上の送信先を定義する必要があります。利用可能なオプションについては、38ページの送信先のタイプについてを参照してください。

送信先を追加します。

1. [Events > Recipients (イベント > 送信先)] に移動し、[Add (追加)] をクリックします。
2. わかりやすい名前を入力します。
3. 送信先の [タイプ] を選択します。
4. 送信先のタイプに必要な情報を入力します。
5. [テスト] をクリックして、送信先への接続をテストします。
6. [OK] をクリックします。

送信先のタイプについて

以下の送信先のタイプを利用できます。

| 送信先のタイプ | 用途 | 備考 |
|---------|------------------------------|------------------------------------|
| 電子メール | 画像の送信 通知の送信 ビデオクリップの送信 | 電子メールの送信先には、複数のメールアドレスを含めることができます。 |
| FTP | 画像の送信 ビデオクリップの送信 | |

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

イベントについて

| | | |
|----------|------------------------------|---|
| SFTP | 画像の送信 ビデオクリップの送信 | SSH File Transport Protocol (SFTP)を使用した暗号化ファイルの転送 SFTPはFTPより安全な方式ですが、特に高解像度映像などの大きなファイルの転送に時間がかかる可能性があります。 SFTPサーバーのログイン情報とサーバーの公開鍵 MD5 フィンガープリント (32桁の16進数) を指定します。 SFTP送信先は、RSAおよびDSAホストキータイプによるSSH-2を使用するSFTPサーバーをサポートします。RSAが推奨方式です。DSAを使用するには、SFTPサーバーでRSAキーを無効にします。 |
| HTTP | 画像の送信 通知の送信 ビデオクリップの送信 | |
| HTTPS | 画像の送信 通知の送信 ビデオクリップの送信 | HyperText Transfer Protocol Secure (HTTPS)を使用した暗号化ファイルの転送。 HTTPSサーバーのログイン情報を指定し、サーバーの証明書を確認します。本製品とHTTPSサーバーの間にプロキシがある場合、プロキシ設定も指定します。 |
| ネットワーク共有 | 画像の送信 ビデオクリップの送信 | ネットワーク共有は記録した映像のストレージデバイスとしても使用できます。[System Options > Storage (システムオプション > ストレージ)] に移動して、ネットワーク共有を設定してから、連続録画の設定や映像を録画するアクションルールの設定を行います。ストレージデバイスの詳細については、54ページの ストレージ を参照してください。 |
| TCP | 通知の送信 | |

電子メールの送信先を設定する方法

電子メールの送信先は、電子メールプロバイダーのリストから選択したり、企業の電子メールサーバーなどのSMTPサーバー、ポート、認証方法を指定して設定することができます。

注意

一部の電子メールプロバイダーは、大量の添付ファイルの受信や表示を防止したり、スケジュールにしたがって送信された電子メールなどの受信を防止するセキュリティフィルターを備えています。電子メールプロバイダーのセキュリティポリシーを確認して、メールの送信の問題が発生したり、電子メールアカウントがロックされたりしないようにしてください。

プロバイダーのリストからメール送信先を設定します。

1. [Events > Recipients (イベント > 送信先)] に移動し、[Add (追加)] をクリックします。
2. [名前] を入力して、[タイプ] リストから [電子メール] を選択します。
3. メール送信先のアドレスを [送信先] フィールドに入力します。複数のアドレスを指定する場合は、カンマで区切ります。
4. [プロバイダー] リストから電子メールプロバイダーを選択します。
5. 電子メールアカウントのユーザーIDとパスワードを入力します。
6. [テスト] をクリックして、テストメールを送信します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

イベントについて

たとえば、企業メールサーバーを使用しているメール送信先を設定するには、上記の手順で、[プロバイダー]ではなく[ユーザー定義]を選択します。送信元として表示するメールアドレスを、[送信元]フィールドに入力します。[詳細設定]を選択し、SMTPサーバーのアドレス、ポート、認証方法を指定します。必要に応じて、[暗号の使用]を選択し、暗号化された接続を使用してメールを送信します。サーバー証明書の検証には、本製品で利用できる証明書を使用できます。証明書をアップロードする方法については、47ページの**証明書**についてを参照してください。

スケジュールを作成する方法

スケジュールは、営業時間外に動きを検知した場合にビデオを記録するなど、アクションルールのトリガーとして、または追加条件として使用できます。既定のスケジュールのどれかを使用するか、または以下のように新しいスケジュールを作成します。

新しいスケジュールを作成するには:

1. [Events > Schedules (イベント > スケジュール)] に移動して、[Add (追加)] をクリックします。
2. 日次、週次、月次、または年次スケジュールに必要なわかりやすい名前と情報を入力します。
3. [OK] をクリックします。

アクションルールでスケジュールを使用するには、[Action Rule Setup] (アクションルール設定) ページの [Schedule (スケジュール)] ドロップダウンリストからスケジュールを選択します。

繰り返しの設定方法

繰り返しは、たとえば5分ごとまたは1時間ごとにアクションルールを繰り返しトリガーする場合に使用します。

繰り返しを設定するには:

1. [Events > Recurrences (イベント > 繰り返し)] に移動し、[Add (追加)] をクリックします。
2. わかりやすい名前と繰り返しのパターンを入力します。
3. [OK] をクリックします。

アクションルールで繰り返しの設定を使用するには、まずアクションルール設定ページの [トリガー] ドロップダウンリストから [時刻] を選択し、2番目のドロップダウンリストで [繰り返し] を選択します。

繰り返しを変更または削除するには、[繰り返しリスト] から [繰り返し] を選択し、[変更] または [削除] をクリックします。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

録画について

録画について

本製品は、映像を連続的に録画したり、アクションルールに従って録画するように設定できます。

- 連続録画 - 42ページを参照。
- アクションルールの設定 - 36ページを参照。
- 録画へのアクセス - 41ページの録画の検索方法を参照。
- 録画の再生 - 42ページの録画の再生方法を参照。
- 録画をビデオクリップとしてエクスポート - 42ページのビデオクリップをエクスポートする方法を参照。
- カメラのストレージの設定 - 54ページのストレージを参照。

録画の検索方法

SDカードまたはネットワーク共有に保存された録画は、[Recordings > List (録画 > リスト)] ページからアクセスできます。このページには、ストレージデバイス上のすべての録画が一覧表示され、各録画の開始日時、長さ、および録画をトリガーしたイベントが表示されます。

注意

録画の開始日時は、本製品の日付と時刻の設定に従って設定されます。本製品が使用場所のタイムゾーンとは別のタイムゾーンを使用するように設定されている場合、本製品のタイムゾーンに従って [Recording time (録画時刻)] フィルターを設定してください。日付と時刻の設定は、[System Options > Date & Time (システムオプション > 日付と時刻)] で行います。48ページの日付と時刻を参照してください。

録画を検索するには、以下の手順に従います。

1. [Recordings > List (録画 > リスト)] に移動します。
2. 表示される録画の数を減らすには、[Filter (フィルター)] から目的のオプションを選択します。
[Recording time (録画時刻)] – [From (開始)] 時刻と [To (終了)] 時刻の間に開始した録画を一覧表示します。
[Event (イベント)] – 特定のイベントによってトリガーされた録画を一覧表示します。[continuous (連続)] を選択すると、連続録画が一覧表示されます。
[Storage (ストレージ)] – 特定のストレージデバイスの録画が一覧表示されます。
[Sort (並べ替え)] – リスト内の録画を並べ替える方法を指定します。
[Results (結果)] – 表示する録画の最大数を指定します。
3. フィルターを適用するには、[Filter (フィルター)] ボタンをクリックします。フィルターによっては、完了までに時間がかかることがあります。
4. 録画は、[Recording (録画)] リストに表示されます。

録画を再生するには、録画を選択して、[Play (再生)] をクリックします。42ページの録画の再生方法も参照してください。

録画の詳細情報を表示するには、録画を選択し、[Properties (プロパティ)] をクリックします。

録画または録画の一部をビデオクリップとしてエクスポートするには、録画を選択して、[Export (エクスポート)] をクリックします。42ページのビデオクリップをエクスポートする方法も参照してください。

録画をストレージデバイスから削除するには、録画を選択して、[Remove (削除)] をクリックします。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

録画について

録画の再生方法

SDカードまたはネットワーク共有に保存された録画は、本製品のWebページから直接再生できます。

録画を再生するには、以下の手順に従います。

1. [Recordings > List (録画 > リスト)] に移動します。
2. 表示される録画の数を減らすには、[Filter (フィルター)] から目的のオプションを選択して、[Filter (フィルター)] ボタンをクリックして、フィルターを適用します。41ページの録画の検索方法も参照してください。
3. 録画を選択して、[Play (再生)] をクリックします。録画が新しいブラウザウィンドウで再生されます。

ビデオクリップをエクスポートする方法

SDカードまたはネットワーク共有上の録画をビデオクリップとしてエクスポートできます。録画全体または録画の一部をエクスポートできます。

注意

エクスポートされる録画は、Matroskaビデオファイル(.mkv)です。録画をWindows Media Playerで再生するには、AXIS Matroskaファイルスプリッターをインストールする必要があります。AXIS Matroskaファイルスプリッターは、www.axis.com/support/downloadsからダウンロードできます。

ビデオクリップをエクスポートするには、以下の手順に従います。

1. [Recordings > List (録画 > リスト)] に移動します。
2. 表示される録画の数を減らすには、[Filter (フィルター)] から目的のオプションを選択して、[Filter (フィルター)] ボタンをクリックして、フィルターを適用します。41ページの録画の検索方法も参照してください。
3. 録画を選択して、[Export (エクスポート)] をクリックします。[Export Recording (録画のエクスポート)] ダイアログが開きます。
4. デフォルトでは、録画全体が選択されます。録画の一部をエクスポートするには、開始時刻と終了時刻を変更します。
5. オプションで、録画のファイル名を入力します。
6. [Export (エクスポート)] をクリックします。

注意

録画は、再生ウィンドウからもエクスポートできます。

連続録画について

本製品は、ビデオを連続的にストレージデバイスに保存するように設定することができます。ストレージデバイスの詳細については、54ページのストレージを参照してください。ディスクが満杯になるのを防ぐため、古い録画は自動的に削除するように設定することをお勧めします。

録画中に新しいストリームプロファイルを選択した場合、録画は停止され、録画リストに保存され、新しいストリームプロファイルの録画が開始されます。以前の連続録画は、手動で削除するか、古い録画として自動的に削除されるまで、録画リストに残ります。

連続録画を開始するには、次の手順に従います。

1. [Recordings > Continuous (録画 > 連続)] に移動します。
2. [Enabled (有効にする)] を選択します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

録画について

3. [Storage (ストレージ)] リストからストレージデバイスのタイプを選択します。
4. 連続録画に使用する [Stream profile (ストリームプロファイル)] を選択します。音声を録画に含めるには、AAC音声エンコードを使用し、選択したストリームプロファイルで音声の有効になっていることを確認します。
5. [Save (保存)] をクリックして保存し、録画を開始します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

言語について

言語について

本製品には複数の言語をインストールできます。オンラインヘルプを含むすべてのWebページが選択した言語で表示されます。言語を切り替えるには、[Setup (設定)] > [Languages (言語)] に移動して、新しい言語ファイルをアップロードします。ファイルの場所を指定し、[Upload Language (言語のアップロード)] ボタンをクリックします。リストから新しい言語を選択して、[Save (保存)] をクリックします。

注意

- 本製品を工場出荷時の設定にリセットすると、アップロードした言語ファイルは消去され製品の言語が英語に戻ります。
- [Maintenance (メンテナンス)] ページの [Restore (復元)] ボタンをクリックした場合は、言語への影響はありません。
- ファームウェアのアップグレードを行っても、使用中の言語は変更されませんが、新しい言語がアップロードされている状態でファームウェアのアップグレードを行うと、翻訳文が製品のWebページに適合しなくなる可能性があります。その場合は、更新された言語ファイルをアップロードしてください。
- 現在またはそれ以降のバージョンの言語をアップロードすると、製品に先にインストールされていた当該言語が置き換えられます。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

システムオプションについて

セキュリティ

ユーザー

ユーザーアクセスコントロールは、デフォルトで有効になっていて、[System Options > Security > Users (システムオプション > セキュリティ > ユーザー)] で設定できます。管理者は、ユーザー名とパスワードを付与して、ユーザーを設定できます。匿名の閲覧者によるログインを許可することもできます。その場合、誰でもライブビューページにアクセスできるようになります。

ユーザーリストには、権限のあるユーザーとユーザーグループ(アクセスレベル)が表示されます。

- ・ **閲覧者**には、ライブビューページへのアクセス権があります。
- ・ **オペレーター**には、次の操作を除く、すべての設定に対するアクセス権があります。
 - PTZプリセットの作成と変更
 - PTZコントロール設定の作成と変更
 - プライバシーマスク設定の作成と変更
 - アプリケーションと言語ファイルのアップロード
 - [System Options (システムオプション)] に含まれるすべての設定
- ・ **管理者**には、すべての設定に対する無制限のアクセス権があります。管理者は他のユーザーを追加、変更、削除できます。

注意

[暗号化および非暗号化] オプションを選択すると、Webサーバーがパスワードを暗号化します。暗号化および非暗号化は、新しい製品または工場出荷時の設定にリセットされた製品のデフォルトオプションです。

[HTTP/RTSP パスワードの設定] で、許可するパスワードのタイプを選択します。暗号化に対応していないクライアントが閲覧する場合や、最近ファームウェアをアップグレードしたばかりで、既存のクライアントは暗号化に対応しているが、再ログインして設定を行わないと暗号化機能を使用できない場合は、非暗号化パスワードの使用を許可する必要があります。

匿名のユーザーがライブビューページにアクセスできるようにするには、[ユーザー設定] で [匿名の閲覧者によるログインを有効にする] オプションを選択します。

[PTZコントロールの匿名ログインを有効にする] を選択すると、匿名ユーザーがPTZコントロールにアクセスできるようになります。

[基本設定] メニューを非表示にするには、[基本設定メニューを有効する] の選択を解除します。[基本設定] メニューを使用すれば、本製品を使用する前に行う必要がある設定にすばやくアクセスできます。

ONVIF

ONVIF (Open Network Video Interface Forum) は、グローバルなインターフェース標準として、エンドユーザー、インテグレーター、コンサルタント、メーカーによるネットワークビデオ技術の可能性の利用を容易にします。ONVIFは、さまざまなベンダー製品間の相互運用性、柔軟性の向上、コストの低減、陳腐化しないシステムを可能にします。

ユーザーを作成すると、ONVIF通信が自動的に有効となります。製品とのすべてのONVIF通信には、ユーザー名とパスワードを使用します。詳細については、www.onvif.orgを参照してください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

IPアドレスフィルター

IPアドレスフィルタリングは、[System Options > Security > IP Address Filter (システムオプション > セキュリティ > IPアドレスフィルター)]で有効にします。IPアドレスフィルタリングが有効になると、リスト内のIPアドレスからの本製品へのアクセスは許可または拒否されます。リストから[許可]または[拒否]を選択し、[適用]をクリックして、IPアドレスフィルタリングを有効にします。

管理者は、最大256のIPアドレスをリストに追加できます(1つのエントリーに複数のIPアドレスを含めることができます)。

HTTPS

HTTPS (HyperText Transfer Protocol over Secure Socket Layer、またはHTTP over SSL) は暗号化されたブラウジングを可能にするWebプロトコルです。ユーザーやクライアントがHTTPSを使用して、適切なデバイスがアクセスしているかを検証することもできます。HTTPSが提供するセキュリティレベルは、ほとんどの商用情報の交換に十分適合していると考えられています。

本製品は、別のユーザーグループ(管理者、オペレーター、閲覧者)のユーザーがログインしたときに、HTTPSが必要かどうかを設定できます。

HTTPSを使用するには、まずHTTPS証明書をインストールする必要があります。証明書をインストールして管理するには、[System Options > Security > Certificates (システムオプション > セキュリティ > 証明書)]に移動します。47ページの**証明書**についてを参照してください。

本製品でHTTPSを有効にするには、以下の操作を行います。

1. [System Options > Security > HTTPS (システムオプション > セキュリティ > HTTPS)]に移動します。
2. インストール済み証明書のリストからHTTPS証明書を選択します。
3. 必要に応じて、[暗号]をクリックして、SSLで使用する暗号化アルゴリズムを選択します。
4. [HTTPS接続ポリシー]をユーザーグループごとに設定します。
5. [保存]をクリックすると、設定が有効になります。

希望するプロトコルを使用して本製品にアクセスするには、ブラウザーのアドレスフィールドに、HTTPSプロトコルの場合は「https://」、HTTPプロトコルの場合は「http://」を入力します。

HTTPSポートは[System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 詳細設定)]ページで変更できます。

IEEE 802.1X

IEEE 802.1XはポートベースのNetwork Admission Control用の標準規格であり、有線およびワイヤレスのネットワークデバイスを安全に認証します。IEEE 802.1Xは、EAP (Extensible Authentication Protocol)に基づいています。

IEEE 802.1Xで保護されているネットワークにアクセスするには、デバイスは認証される必要があります。認証を実行するのは認証サーバーで、一般的には、FreeRADIUS、Microsoft Internet Authentication ServerなどのRADIUSサーバーです。

Axisの実装においては、本製品と認証サーバーは、EAP-TLS (Extensible Authentication Protocol - Transport Layer Security) を使用するデジタル証明書で自己証明を行います。証明書は、**認証局 (CA)** が発行します。以下の証明書が必要です。

- 認証サーバーを認証するCA証明書。
- CAが署名した、本製品を認証するクライアント証明書

証明書を作成し、インストールするには、[System Options > Security > Certificates (システムオプション > セキュリティ > 証明書)]に移動します。47ページの**証明書**についてを参照してください。

本製品がIEEE 802.1Xで保護されているネットワークにアクセスするのを許可するには、以下の手順を実行します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

1. [System Options > Security > IEEE 802.1X (システムオプション > セキュリティ > IEEE 802.1X)] に移動します。
2. インストールされている証明リストから [CA証明書] と [クライアント証明書] を選択します。
3. [設定] からEAPOLバージョンを選択して、クライアント証明書に関連付けられているEAPのIDを入力します。
4. チェックボックスにチェックを入れて、IEEE 802.1Xを有効にし、[保存] をクリックします。

注意

認証を正しく行うには、本製品の日付と時刻をNTPサーバーと同期させる必要があります。48ページの日付と時刻を参照してください。

証明書について

証明書は、ネットワーク上のデバイスの認証に使用されます。一般的なアプリケーションには、暗号化されたWebブラウジング (HTTPS)、IEEE 802.1Xによるネットワーク保護、電子メールなどによる画像や通知メッセージの安全なアップロードなどがあります。本製品では、以下の2種類の証明書を使用できます。

サーバー/クライアント証明書 - 本製品を認証します。サーバー/クライアント証明書は、自己署名証明書と認証局 (CA) 発行の証明書のどちらでも使用できます。自己署名証明書による保護には制限がありますが、認証局発行の証明書を取得するまで利用できます。

CA証明書 - ピア証明書 (たとえば、本製品がIEEE 802.1Xで保護されたネットワークに接続している場合の認証サーバーの証明書など) を認証します。本製品には、CA証明書が何種類かプリインストールされています。

注意

- 製品が工場出荷時の値にリセットされると、プリインストールされたCA証明書以外のすべての証明書が削除されます。
- 製品が工場出荷時の値にリセットされると、プリインストールされたCA証明書以外のすべての証明書が削除されます。

自己署名証明書の作成方法

1. [Setup > System Options > Security > Certificates (設定 > システムオプション > セキュリティ > 証明書)] に移動します。
2. [自己署名証明書の作成] をクリックして、必要な情報を入力します。

CA署名済み証明書を作成し、インストールする方法

1. 自己署名証明書を作成するには、47ページの自己署名証明書の作成方法を参照してください。
2. [Setup > System Options > Security > Certificates (設定 > システムオプション > セキュリティ > 証明書)] に移動します。
3. [証明書の署名要求の作成] をクリックして、必要な情報を入力します。
4. PEM形式の証明書請求をコピーして、希望するCAに送信します。
5. 署名付き証明書を受け取ったら、[証明書のインストール] をクリックして、証明書をアップロードします。

追加のCA証明書をインストールする方法

1. [Setup > System Options > Security > Certificates (設定 > システムオプション > セキュリティ > 証明書)] に移動します。
2. 証明書をアップロードするには、[証明書のインストール] をクリックして、証明書をアップロードします。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

音声機能

[Enable audio support] (音声機能を有効にする)を選択すると、クライアントが本製品から音声ストリームを取得できるようになります。音声の設定方法については、26ページの音声設定の変更方法を参照してください。

注意

このオプションの選択を解除すると、本製品全体で音声が無効になるため、音声の設定済みのイベントやプロファイルでも、音声機能が無効になります。

日付と時刻

本製品の日付と時刻の設定は、[System Options > Date & Time (システムオプション > 日付と時刻)]で行います。

[Current Server Time (現在のサーバー時刻)]には、現在の日付と時刻(24時間形式)が表示されます。オーバーレイテキストでは、時刻を12時間形式で表示することができます(下記参照)。

日付と時刻の設定を変更するには、[New Server Time (新しいサーバー時刻)]から希望の[Time mode (時刻モード)]を選択します。

- [Synchronize with computer time (コンピューターの時刻に合わせる)]は、コンピューターの時計に合わせて日付と時刻を設定します。このオプションでは、日付と時刻は一度だけ設定され、その後自動的に同期されません。
- [Synchronize with NTP Server (NTPサーバーと同期する)] - NTPサーバーから日付と時刻を取得します。このオプションでは、日付と時刻の設定が継続的に更新されます。NTPの設定の詳細については、51ページのNTP設定を参照してください。
NTPサーバーとしてホスト名を使用している場合は、DNSサーバーの設定を行う必要があります。50ページのDNS設定を参照してください。
- [Set manually (手動で合わせる)] - 日付と時刻を手動で設定できます。

NTPサーバーを使用している場合は、ドロップダウンリストから[Time zone (タイムゾーン)]を選択します。必要に応じて、[Automatically adjust for daylight saving time changes (夏時間の調整を自動的に行う)]を選択します。

[Date & Time Format Used in Images (映像で使用する日付と時刻の形式)]は、ビデオストリーム上のテキストオーバーレイとして表示される日付と時刻の形式です。既定の形式以外に独自の日付/時刻の形式を作成できます。詳細についてはオンラインヘルプの「ファイル名と日付/時刻の書式指定」を参照してください。オーバーレイテキストに日付と時刻を含めるには、[Video & Audio (ビデオと音声)]に移動し、[Include date (日付を表示する)]と[Include time (時刻を表示する)]を選択します。

ネットワーク

TCP/IPの基本設定

本製品は、IPv4(IPv4)、IPv6(IPv6)をサポートします。両方のバージョンを同時に有効にすることができますが、少なくとも一方のバージョンが常に有効である必要があります。

IPv4アドレスの設定

本製品は、デフォルトで、IPv4(IPv4)を使用し、DHCPでIPアドレスを自動的に取得するように設定されています。IPv4の設定は、System Options > Network > TCP/IP > Basic (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 基本設定)で行います。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)を使用すると、IPアドレスの割り当てをネットワーク管理者が一括管理し、自動化することができます。DHCPを有効にするのは、動的IPアドレス通知を使用する場合か、DHCPでDHCPサーバーを更新できる場合だけにしてください。DHCPを有効にすると、名前(ホスト名)で本製品にアクセスできるようになります。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

DHCPを有効にして本製品にアクセスできなくなった場合は、AXIS IP Utilityを実行し、ネットワークに接続されているAxis製品を検索するか、本製品を工場出荷時の設定にリセット (59ページを参照) してからインストールをやり直す必要があります。

静的IPアドレスを使用するには、**Use the following IP address (次のIPアドレスを使用する)** を選択し、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトのルーターを指定します。

IPv6アドレスの設定

IPv6 (IPバージョン6) を有効にすると、ネットワークルーターの設定にしたがってIPアドレスが本製品に付与されます。

IPv6を有効にするには、**System Options > Network > TCP/IP > Basic (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 基本設定)** に移動します。IPv6のそれ以外の設定はネットワークルーターで行われます。

ARP/Ping

製品のIPアドレスはARPおよびPingを使用して割り当てることができます。手順については、49ページの*ARP/Pingを使用したIPアドレスの割り当て*を参照してください。

ARP/Pingサービスはデフォルトで有効になっていますが、製品の起動後2分、または、IPアドレスが割り当てられた直後に自動的に無効になります。ARP/Pingを使用してIPアドレスの再割り当てを行うには、製品を再起動して、ARP/Pingを再び2分間有効にする必要があります。

サービスを無効にするには、**[System Options > Network > TCP/IP > Basic (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 基本設定)]** に移動し、オプション **[Enable ARP/Ping setting of IP address (IPアドレスのARP/Ping設定を有効にする)]** をクリアします。

このサービスが無効になっていても、本製品にPingを送信することは可能です。

ARP/Pingを使用したIPアドレスの割り当て

製品のIPアドレスはARP/Pingを使用して割り当てることができます。このコマンドは電源を投入してから2分以内に発行する必要があります。

1. お使いのコンピューターと同じネットワークセグメントで使用されていない静的IPアドレスを取得します。
2. 製品のラベルに記載されているシリアル番号 (S/N) を確認します。
3. コマンドプロンプトを開き、以下のコマンドを入力します。

Linux/Unix 構文

```
arp -s <IPアドレス> <シリアル番号> temp  
ping -s 408 <IPアドレス>
```

Linux/Unix の例

```
arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp  
ping -s 408 192.168.0.125
```

Windows 構文 (コマンドプロンプトは、管理者として実行する必要があります)

```
arp -s <IPアドレス> <シリアル番号>  
ping -l 408 -t <IPアドレス>
```

Windows の例 (コマンドプロンプトは、管理者として実行する必要があります)

```
arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00  
ping -l 408 -t 192.168.0.125
```

4. ネットワークコネクタ (PoE) を接続し直して、製品を再起動します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

5. 「Reply from 192.168.0.125: ...」のようなメッセージが表示されるのを確認し、コマンドプロンプトを終了します。
6. ブラウザーを開き、[アドレス]フィールドに、`http://<IPアドレス>`と入力します。

IPアドレスを割り当てる他の方法については、Axisのサポートホームページ (www.axis.com/support) にあるドキュメント『*IPアドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス*』を参照してください。

注意

- Windowsでコマンドプロンプトを開くには、[スタート]メニューを開き、[ファイル名を指定して実行]フィールドに「cmd」と入力します。
- Windows 8/Windows 7/Windows VistaでARPコマンドを使用するには、コマンドプロンプトアイコンを右クリックして、[管理者として実行]を選択します。
- Mac OS Xでコマンドプロンプトを開くには、[Application > Utilities (アプリケーション > ユーティリティ)] から [Terminal utility (ターミナルユーティリティ)] を開きます。

AXIS Video Hosting System (AVHS)

AVHSをAVHSサービスと共に使用すると、インターネットを介して、ライブビデオや録画ビデオにどこからでも簡単、安全にアクセスできます。近くのAVHSサービスプロバイダーを見つけるには、www.axis.com/hosting を参照してください。

AVHSの設定は、[System Options > Network > TCP/IP > Basic (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 基本設定)] で行います。AVHSサービスへの接続はデフォルトで有効になっています。無効にするには、[Enable AVHS (AVHSを有効にする)] ボックスをオフにします。

[One-click enabled (ワンクリックを有効にする)] - 製品のコントロールボタン (9ページの、製品の概要を参照) を約3秒間押し続けて、インターネットを介してAVHSサービスに接続します。登録後は、[Always (常時)] が有効になり、本製品はAVHSサービスに接続し続けます。ボタンを押してから24時間以内に本製品を登録しなかった場合、本製品とAVHSサービスの接続が切断されます。

[Always (常時)] - 本製品は、インターネットを介したAVHSサービスへの接続を継続的に試行します。本製品は、いったん登録されると、AVHSサービスに接続し続けます。本製品がすでにインストール済みで、ワンクリックインストールを使用する必要がない場合、このオプションを使用することができます。

AXIS Internet Dynamic DNSサービス

AXIS Internet Dynamic DNSサービスは、ホスト名を割り当てて、本製品へのアクセスを容易にします。詳細については、www.axiscam.netを参照してください。

本製品をAXIS Internet Dynamic DNSサービスに登録するには、[System Options > Network > TCP/IP > Basic (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 基本設定)] に移動します。[Services (サービス)] でAXIS Internet Dynamic DNSサービスの [Settings (設定)] ボタンをクリックします (インターネットへのアクセスが必要)。製品に関してAXIS Internet Dynamic DNSサービスに現在登録されているドメイン名は、いつでも削除することができます。

注意

AXIS Internet Dynamic DNSサービスにはIPv4が必要です。

TCP/IPの高度な設定

DNS設定

DNS (Domain Name Service) は、ホスト名からIPアドレスへの変換を行います。DNS設定は、[System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 詳細設定)] で行います。

DHCPサーバーから提供されるDNS設定を使用するには、[Obtain DNS server address via DHCP (DHCPを使用してDNSサーバーアドレスを取得する)] を選択します。

手動設定を行うには、[Use the following DNS server address (次のDNSサーバーアドレスを使用する)] を選択して、次のように指定します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

ドメイン名 - 本製品が使用するホスト名を検索するドメインを入力します。セミコロンで区切って、複数のドメイン名を指定することができます。ホスト名には、完全修飾ドメイン名の最初の部分を使用します。たとえば、完全修飾ドメイン名がmyserver.mycompany.comの場合、myserverがホスト名です(mycompany.comはドメイン名)。

Primary/Secondary DNS server (プライマリ/セカンダリDNSサーバー) - プライマリDNSサーバーとセカンダリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーは、プライマリDNSサーバーが使用できない場合に使用されます。セカンダリDNSサーバーの指定は省略可能です。

NTP設定

NTP (Network Time Protocol) は、ネットワーク上の機器の時刻を同期するために使用します。NTP設定は、**[System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 詳細設定)]**で行います。

DHCPサーバーから提供されるNTP設定を使用するには、**[Obtain NTP server address via DHCP (DHCPを使用してNTPサーバーアドレスを取得する)]**を選択します。

手動で設定を行うには、**[Use the following NTP server address (次のNTPサーバーアドレスを使用する)]**を選択して、NTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。

ホスト名の設定

IPアドレスの代わりにホスト名を使用して本製品にアクセスすることができます。通常、ホスト名は割り当てられたDNS名と同じです。ホスト名は、**[System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 詳細設定)]**で設定します。

IPv4で実行されているDHCPサーバーによって提供されるホスト名を使用するには、**[Obtain host name via IPv4 DHCP (IPv4のDHCPを使用してホスト名を取得)]**を選択します。

ホスト名を手動で設定するには、**[Use the host name (ホスト名を使用する)]**を選択します。

[Enable dynamic DNS updates (DNSの動的更新を有効にする)]を選択すると、本製品のIPアドレスが変わるたびに、ローカルのDNSサーバーが動的に更新されます。詳細については、オンラインヘルプ(?)を参照してください。

リンクローカルIPv4アドレス

[Link-Local IPv4 Address (リンクローカルIPv4アドレス)]は、デフォルトで有効であり、本製品に追加のIPアドレスを割り当てます。この追加のIPアドレスは、ローカルネットワーク上の同じセグメントにある他のホストから本製品にアクセスするために使用されます。本製品は、リンクローカルIPアドレスと、静的IPアドレスまたはDHCPによって提供されるIPアドレスの両方を同時に持つことができます。

この機能は、**[System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 詳細設定)]**で無効にできます。

HTTP

本製品で使用するHTTPポートは、**[System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 詳細設定)]**で変更できます。デフォルト設定の80に加えて、1024~65535の範囲のポートを使用できます。

HTTPS

本製品で使用するHTTPSポートは、**[System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 詳細設定)]**で変更できます。デフォルト設定の443に加えて、1024~65535の範囲のポートを使用できます。

HTTPSを有効にするには、**[System Options > Security > HTTPS (システムオプション > セキュリティ > HTTPS)]**に移動します。詳細については、46ページのHTTPSを参照してください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

IPv4用NATトラバーサル (ポートマッピング)

プライベートネットワーク (LAN) 上のデバイスは、ネットワークルーターを使用することにより、インターネットへの接続を共有できます。これは、プライベートネットワークから「外部」(つまり、インターネット)へネットワークトラフィックを転送することによって行われます。ほとんどのネットワークルーターが、パブリックネットワーク (インターネット) からプライベートネットワーク (LAN) へのアクセスを阻止するようあらかじめ設定されており、プライベートネットワーク (LAN) のセキュリティは高いものになっています。

NATトラバーサルは、イントラネット (LAN) 上にある本製品を、NATルーターの外側 (WAN) から利用できるようにしたい場合に使用します。NATトラバーサルを正しく設定すると、NATルーターの外部HTTPポートに着信するすべてのHTTPトラフィックが本製品に転送されます。

NATトラバーサルは、**[System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 詳細設定)]**で設定します。

注意

- NATトラバーサルを機能させるには、ルーターがNATトラバーサルに対応している必要があります。また、UPnP[®]にも対応している必要があります。
- この場合、ルーターとは、NATルーター、ネットワークルーター、インターネットゲートウェイ、ブロードバンドルーター、ブロードバンド共有デバイスなどのネットワークルーティングデバイス、またはファイアウォールなどのソフトウェアを指します。

有効化/無効化 - 有効にすると、本製品はUPnPを使用してネットワーク上のNATルーターにポートマッピングを設定します。本製品でUPnPを有効にする必要があります (**[System Options > Network > UPnP (システムオプション > ネットワーク > UPnP)]**を参照してください)。

Use manually selected NAT router (手動で選択したNATルーターを使用する) - このオプションを選択すると、手動でNATルーターを選択して、フィールドにルーターのIPアドレスを入力できます。ルーターを指定しなかった場合、本製品がネットワーク上でNATルーターを自動的に検索します。複数のルーターが検出された場合は、デフォルトのルーターが選択されます。

Alternative HTTP port (代替HTTPポート) - このオプションを選択すると、外部HTTPポートを手動で定義できます。1024~65535の範囲でポートを入力してください。ポートフィールドが空白の場合や、デフォルトの設定 (0) が表示されている場合、NATトラバーサルを有効にしたときにポート番号が自動的に選択されます。

注意

- NATトラバーサルが無効になっている場合でも、代替のHTTPポートを使用したり、アクティブにすることができます。これは、NATルーターがUPnPをサポートしておらず、NATルーターでポート転送を手動設定する必要がある場合に便利です。
- すでに使用されているポートを手動で入力しようとすると、別の使用可能なポートが自動的に選択されます。
- ポートが自動的に選択されると、このフィールドに表示されます。この選択を変更するには、新しいポート番号を入力して、**[Save (保存)]**をクリックします。

FTP

本製品でFTPサーバーを実行することにより、新しいファームウェア、ユーザーアプリケーションなどのアップロードができるようになります。FTPサーバーは、**[System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 詳細設定)]**で無効にできます。

注意

FTPサーバーを無効にしても、本製品からFTPを使用して他の場所やサーバーに画像を送信することができます。

RTSP

本製品でRTSPサーバーが動作している場合は、接続したクライアントからH.264ストリームを開始できます。RTSPポート番号は **System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 高度な設定)** で変更できます。デフォルトでは、ポートは554に設定されています。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

注意

RTSPサーバーが無効になっている場合、H.264ビデオストリームは使用できません。

SOCKS

SOCKSは、ネットワークプロキシプロトコルです。SOCKSサーバーを使用してファイアウォールやプロキシサーバーの外側のネットワークにアクセスするように本製品を設定できます。この機能は、ファイアウォールの内側のローカルネットワーク上の本製品からローカルネットワークの外側（インターネットなど）に通知やアラームを送信したり、アップロードなどを行う必要がある場合に役立ちます。

SOCKSは、[System Options > Network > SOCKS (システムオプション > ネットワーク > SOCKS)]で設定します。詳細については、オンラインヘルプ(🔗)を参照してください。

QoS (Quality of Service)

QoS (Quality of Service) は、ネットワーク上の特定のトラフィックに対して指定されたリソースの一定のレベルを保証します。QoSに対応したネットワークでは、トラフィックに優先順位を付け、アプリケーションで使用できる帯域幅を制御することでネットワークの信頼性が向上します。

QoSの設定は、System Options > Network > QoS (システムオプション > ネットワーク > QoS) で行います。本製品では、DSCP (Differentiated Services Codepoint) 値を使用して、さまざまなタイプのトラフィックにマークを付けることができます。

注意

RTSPによるH.264の送信では、ライブ音声のDSCPはライブビデオのDSCPと同じになります。

SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol) を使用すると、離れた場所からネットワーク装置を管理できます。SNMPコミュニティは、SNMPを実行しているネットワーク装置と管理ステーションのグループです。各グループは、コミュニティ名で識別されます。

ビデオハードウェア用のAXIS Video MIB (Management Information Base) を使用して、管理者の注意を必要とするAxis固有のハードウェア関連問題を監視できます。AXIS Video MIBとMIBファイルのダウンロードについては、www.axis.com/supportを参照してください。

本製品でSNMPを有効にするには、[System Options > Network > SNMP (システムオプション > ネットワーク > SNMP)]ページに移動します。

必要なセキュリティのレベルに応じて、使用するSNMPのバージョンを選択してください。

トラップは、本製品によって重要なイベントやステータスの変化に関して管理システムにメッセージを送るために使用されます。[Enable traps (トラップを有効にする)] をチェックして、トラップメッセージの送信先IPアドレスとメッセージを受け取る [Trap community (トラップコミュニティ)] を入力します。

注意

HTTPSを有効にした場合は、SNMP v1とSNMP v2cは無効にしてください。

[Traps for SNMP v1/v2 (SNMP v1/v2 トラップ)] は、重要なイベントやステータスの変化に関して管理システムにメッセージを送るために本製品によって使用されます。[Enable traps (トラップを有効にする)] をチェックして、トラップメッセージの送信先IPアドレスとメッセージを受け取る [Trap community (トラップコミュニティ)] を入力します。

本製品では、以下のトラップを使用することができます。

- ・ コールドスタート
- ・ ウォームスタート
- ・ リンクアップ

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

- ・ 認証失敗

注意

SNMP v1/v2cトラップを有効にすると、すべてのAXIS Video MIBトラップが有効になります。特定のトラップをオンまたはオフにすることはできません。

SNMP v3は、暗号化と安全なパスワードを提供します。SNMP v3でトラップを使用するには、SNMP v3管理アプリケーションが必要です。

SNMP v3を使用するには、HTTPSを有効にする必要があります(46ページのHTTPSを参照してください)。SNMP v3を有効にするには、ボックスにチェックマークを入れ、初期ユーザーパスワードを指定してください。

注意

初期パスワードは1回しか設定できません。パスワードを忘れた場合は、本製品を工場出荷時の設定にリセットする必要があります。59ページの工場出荷時の設定にリセットする方法を参照してください。

UPnP

本製品は、UPnP®に対応しています。UPnPはデフォルトで有効になっているため、本製品は、このプロトコルをサポートしているオペレーティングシステムとクライアントによって自動的に検出されます。

UPnPは、[System Options > Network > UPnP (システムオプション > ネットワーク > UPnP)]で無効にできます。

RTP/H.264

RTPのポート範囲とマルチキャストの設定は、System Options > Network > RTP (システムオプション > ネットワーク > RTP)で行います。

RTPのポート範囲とはポートの範囲を定めたもので、この範囲の中からビデオポート/音声ポートが自動的に選択されます。マルチキャストストリームには、一定のIPアドレスとポート番号のみを使用してください。

RTSPセッションを開始せずにマルチキャストストリーミングを開始するには、Always Multicast Video (常にビデオをマルチキャスト)、Always Multicast Audio (常に音声をマルチキャスト)を選択します。

Bonjour

本製品は、Bonjourに対応しています。Bonjourはデフォルトで有効になっているため、本製品は、このプロトコルをサポートしているオペレーティングシステムとクライアントによって自動的に検出されます。

Bonjourは、[System Options > Network > Bonjour (システムオプション > ネットワーク > Bonjour)]で無効にできます。

ストレージ

SDカードについて

注記

データが破損しないように、SDカードはアンマウントしてから取り外す必要があります。

注意

推奨するSDカードについては、www.axis.comを参照してください

本製品は、microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応しています。

以下のSDカードファイルシステムがサポートされています。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

- **ext4** — カードの排出または突然の停電によるデータ損失に対する回復力があり、お勧めできるファイルシステムです。Windowsオペレーティングシステムからカードに保存されているデータにアクセスするには、サードパーティ製のext4ドライバーまたはアプリケーションが必要です。
- **vFAT** — パソコン用のほとんどのオペレーティングシステムでサポートされています。

SDカードの管理は、[**System Options > Storage (システムオプション > ストレージ)**] ページで行います。[**SD Card (SDカード)**] をクリックして、[**Storage Management (ストレージ管理)**] を開きます。

カードの状態が「failed (失敗)」と表示されている場合は、問題を特定するために [Check disk (ディスクチェック)] をクリックして、[Repair (修復)] を試みます。このオプションは、ext4形式のSDカードでのみ使用できます。vFAT形式のSDカードの場合は、カードリーダーまたはコンピューターを使用してカードのトラブルシューティングを行ってください。

カードが満杯になるのを避けるため、録画は継続的に削除することをお勧めします。[General Settings (一般設定)] の [Remove recordings older than (次の時間が経過した録画を削除する)] を選択して、日数または週数を選択します。

カードへの書き込みを停止して、削除されないように録画を保護するには、[General Settings (一般設定)] の [Lock (ロック)] を選択します。

SDカードのマウントとアンマウントの方法

注記

録画データが破損しないように、SDカードは、取り外す前にアンマウントする必要があります。

SDカードを挿入するか、本製品を起動すると、自動的にSDカードのマウントが行われます。SDカードがアンマウントされていて、SDカードの排出と再挿入が行われていない場合のみ、手動マウントが必要になります。

SDカードをアンマウントするには:

1. Axis製品のWebページを開き、[Setup > System Options > Storage (設定 > システムオプション > ストレージ)] に移動します。
2. [SD Card (SDカード)] をクリックします。
3. [Unmount (アンマウント)] をクリックします。
4. これでSDカードを取り出せるようになります。

SDカードをフォーマットする方法

注記

SDカードをフォーマットすると、カードに保存されている全てのデータと録画が削除されます。

本製品に挿入されたSDカードを自動的にフォーマットするように設定できます。自動フォーマットが有効なときにSDカードが挿入されると、本製品はSDカードがext4ファイルシステムであるかどうかをチェックします。カードが別のファイルシステムである場合、カードは自動的にext4にフォーマットされます。

重要

自動フォーマットが有効な場合は、新しいSDカードまたは空のSDカードのみを使用してください。カードが本製品に挿入されると、カードに保存されているデータは失われます。

自動フォーマットを有効にするには、以下の手順に従います。

1. Axis製品のWebページを開き、[Setup > System Options > Storage (設定 > システムオプション > ストレージ)] に移動します。
2. [SD Card (SDカード)] をクリックします。
3. [General Settings (一般設定)] の [Autoformat to (オートフォーマット)] を選択します。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

4. [OK] をクリックして設定を保存します。

本製品に挿入されたSDカードを、サポートされるファイルシステムの1つに手動でフォーマットできます。SDカードを手動でフォーマットするには、以下の手順に従ってください。

1. SDカードをSDカードスロットに挿入します。
2. Axis製品のWebページを開き、[Setup > System Options > Storage (設定 > システムオプション > ストレージ)] に移動します。
3. [SD Card (SDカード)] をクリックします。
4. [Format (フォーマット)] をクリックして、目的のファイルシステムを選択します。
5. [OK] をクリックすると、カードのフォーマットが開始されます。

SDカードデータを暗号化する方法

録画された映像に許可されていない個人またはシステムがアクセスするのを防ぐために、SDカードの内容を暗号化できます。暗号化は、アンマウントされたSDカードでのみ有効化できます。暗号化を有効にした後、SDカードをフォーマットして、暗号化されていないデータがカードに残っていないようにします。また、カードを使用するには、まずマウントする必要があります。

注意

オートフォーマットが有効な場合、暗号化が有効にされると、カードは自動でフォーマットおよびマウントされます。その場合、下記のフォーマットおよびマウントの手順は飛ばしてください。

SDカードのコンテンツを暗号化するには

1. Axis製品のWebページを開き、[Setup > System Options > Storage (設定 > システムオプション > ストレージ)] にアクセスします。
2. [SD Card (SDカード)] をクリックして、[Storage Management (ストレージ管理)] を開きます。
3. SDカードがマウントされている場合、[Unmount (アンマウント)] をクリックしてカードをアンマウントします。
4. [Encrypt (暗号化)] をクリックします。
5. [Enable SD card encryption (SDカードの暗号化を有効にする)] を選択して、パスワードを入力します。
6. ストレージ管理で、[Format (フォーマット)] をクリックして、SDカードをフォーマットします。
7. [Mount (マウント)] をクリックして、SDカードをマウントします。

カードを再フォーマットせずにパスワードを変更することができます。[Storage Management (ストレージ管理)] を開き、[Encrypt (暗号化)] をクリックして、古いパスワードと新しいパスワードを入力します。パスワードは、カードがマウントされている場合にのみ変更できます。パスワードを変更しても、継続中の録画には影響しません。

暗号化を無効にするには、SDカードをアンマウントして、上記の手順を実行します。ただし、[SDカードの暗号化を有効にする] オプションを解除します。暗号化が無効にされると、カードはフォーマットおよびマウントされる必要があります。

ネットワーク共有

ネットワーク共有により、ネットワーク接続ストレージ (NAS) などのネットワークストレージを追加することができます。NASは、ネットワークに接続されている本製品からの録画とデータ専用にしてください。推奨NASデバイスについては、www.axis.com/products/axis-companion/support-and-documentationを参照してください。

注意

推奨するNASについては、www.axis.comを参照してください

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

ネットワーク共有を追加するには:

1. [System Options > Storage (システムオプション > ストレージ)] に移動します。
2. [Network Share (ネットワーク共有)] をクリックします。
3. [Host (ホスト)] フィールドにホストサーバーのIPアドレス、DNS、またはBonjour名を入力します。
4. [Share (共有)] フィールドに共有名を入力します。サブフォルダーは使用できません。
5. 必要に応じて、[The share requires login (共有にはログインが必要)] を選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。
6. [Connect (接続)] をクリックします。

共有ストレージの本製品のフォルダーからすべての録画とデータを消去するには、[Storage Tools (ストレージツール)] の [Clear (消去)] をクリックします。

共有ストレージが満杯になるのを避けるため、録画は継続的に削除することをお勧めします。[General Settings (一般設定)] の [Remove recordings older than (次の時間が経過した録画を削除する)] を選択して、日数または週数を選択します。

共有ストレージへの書き込みを停止して、削除されないように録画を保護するには、[General Settings (一般設定)] の [Lock (ロック)] を選択します。

保守

本製品は保守機能を備えています。これらは、[System Options > Maintenance (設定 > システムオプション > メンテナンス)] で使用できます。

本製品が予想どおりに動作しない場合は、[再起動] をクリックして、本製品を正しく再起動します。この場合、現在の設定には影響がありません。

注意

再起動により、サーバーレポートのすべてのエントリが消去されます。

[再起動] をクリックすると、設定の大半が工場出荷時の値にリセットされます。以下の設定はリセットされません。

- ブートプロトコル (DHCPまたは静的)
- 静的IPアドレス
- デフォルトルーター
- サブネットマスク
- システム時刻
- IEEE 802.1X設定

注意

本製品を工場出荷時の設定に復元すると、アップロードされたアプリケーションとその設定は削除されます。

[デフォルト] をクリックすると、IPアドレスなど、すべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。このボタンは慎重に使用する必要があります。本製品は、コントロールボタンを使用してリセットすることもできます。59ページの工場出荷時の設定にリセットする方法を参照してください。

製品のパン/チルト/ズーム機構をテストするには、[PTZの状態] で [テスト] をクリックします。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

本製品の確認またはステータスLEDのテストを行うには、**[確認]**の**[LEDの点滅]**をクリックし、点滅時間を時間、分、秒で指定します。この機能は、同じ場所に設置されている機器の中から本製品を識別するのに便利です。

ファームウェアのアップグレードについては、60ページのファームウェアのアップグレード方法を参照してください。

サポート

サポートの概要

[System Options > Support > Support Overview (システムオプション > サポート > サポートの概要)]のページには、トラブルシューティングに関する情報や技術支援が必要な場合の連絡先情報があります。

60ページの、トラブルシューティングも参照してください。

システムの概要

本製品の状態および設定の概要を確認するには、[System Options > Support > System Overview (システムオプション > サポート > システムの概要)]に移動します。ここでは、ファームウェアバージョン、IPアドレス、ネットワークとセキュリティの設定、イベントの設定、画像の設定、最近のログの内容などの情報が表示されます。

ログとレポート

[System Options > Support > Logs & Reports (システムオプション > サポート > ログとレポート)]のページでは、システム分析やトラブルシューティングに役立つログとレポートが生成されます。Axisの技術サポートに連絡する場合は、質問と共にサーバーレポートを提供してください。

システムログ - システムイベントに関する情報を表示します。

アクセスログ - 失敗したカメラへのアクセスがすべて表示されます。本製品への接続をすべて表示するように設定することもできます(下記参照)。

View Server Report (サーバーレポートを表示) - 本製品のステータスに関する情報をポップアップ表示します。アクセスログは自動的にサーバーレポートに含まれます。

Download Server Report (サーバーレポートをダウンロード) - 完全なサーバーレポートのUTF-8形式のテキストファイルを取めたzipファイルが生成されます。ライブビューのスナップショットを含めるには、**[Include snapshot from Live View (ライブビューからスナップショットを撮影してレポートに含める)]**を選択します。Axisのサポートに連絡する際には、必ず、.zipファイルを添えて問い合わせを行ってください。

パラメーターリスト - 本製品のパラメーターと現在の設定を表示します。トラブルシューティングを行う場合やAxisのサポートに問い合わせを行う場合に役に立ちます。

接続リスト - メディアストリームに現在アクセスしているすべてのクライアントを表示します。

クラッシュレポート - デバッグ情報を含むアーカイブを生成します。レポートの生成には数分かかります。

詳細設定

スクリプト処理

上級ユーザーは、スクリプト処理を使用して、スクリプトをカスタマイズし、使用することができます。

注記

使い方を誤ると、予期せぬ動作が発生したり、本製品にアクセスできなくなる場合があります。

Axisでは、どのような結果になるかを理解するまで、この機能を使用しないことを強くお勧めします。Axisは、スクリプトのカスタマイズによって発生した問題についてはサポートを行いませんのでご注意ください。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

システムオプションについて

スクリプトエディターを開くには、[System Options > Advanced > Scripting (システムオプション > 詳細設定 > スクリプト処理)]に移動します。スクリプトが問題を引き起こす場合は、本製品を工場出荷時の設定にリセットしてください(59ページ参照)。

詳細については、www.axis.com/developerを参照してください。

ファイルのアップロード

ファイル(Webページや画像)を本製品にアップロードし、カスタム設定として使用することができます。ファイルをアップロードするには、[System Options > Advanced > File Upload (システムオプション > 詳細設定 > ファイルのアップロード)]に移動します。

アップロードしたファイルには、<http://<IPアドレス>/local/<ユーザー>/<ファイル名>>を介してアクセスします。<ユーザー>には、アップロードしたファイル用に選択したユーザーグループ(監視者、オペレータ、管理者)を指定します。

PLAIN設定

[PLAIN設定]は、本製品の設定の経験のある上級ユーザー向けのページです。ほとんどのパラメーターは、このページから設定、変更することができます。

[Plain Config (PLAIN設定)]を開くには、[System Options > Advanced > Plain Config (システムオプション > 詳細設定 > PLAIN設定)]に移動します。Axisサポートでは、この機能に関するサポートを提供していません。

工場出荷時の設定にリセットする方法

重要

工場出荷時の設定へのリセットは慎重に行ってください。工場出荷時の設定へのリセットを行うと、IPアドレスを含むすべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。

本製品を工場出荷時の設定にリセットするには、以下の手順を実行します。

1. 本製品の電源を切ります。
2. コントロールボタンを押し続けながら電源を再投入します。
3. ステータスLEDインジケーターが黄色に点滅するまで、コントロールボタンを15~30秒間押し続けます。
4. コントロールボタンを離します。プロセスが完了すると、ステータスLEDが緑色に変わります。これで本製品は工場出荷時の設定にリセットされました。ネットワーク上に利用可能なDHCPサーバーがない場合、デフォルトのIPアドレスは192.168.0.90になります。
5. インストール・管理ソフトウェアツールを使用して、IPアドレスの割り当て、パスワードの設定、ビデオストリームへのアクセスを行います。

axis.com/supportのサポートページに、インストールおよび管理ソフトウェアツールが用意されています。

Webインターフェースを使用して、各種パラメーターを工場出荷時の設定に戻すこともできます。[Setup > System Options > Maintenance] (設定 > システムオプション > メンテナンス)を選択し、[Default] (デフォルト)をクリックします。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

トラブルシューティング

トラブルシューティング

現在のファームウェアの確認方法

ファームウェアは、ネットワークデバイスの機能を決定するソフトウェアです。問題のトラブルシューティングを行う際には、まず、現在のファームウェアバージョンを確認してください。最新バージョンには、特定の問題の修正が含まれていることがあります。本製品の現在のファームウェアのバージョンは、[Setup > Basic Setup (設定 > 基本設定)] および [Setup > About (設定 > バージョン情報)] ページに表示されます。

ファームウェアのアップグレード方法

重要

- ユーザーが正しくアップグレードしなかったことに起因する修理については、販売店は費用を請求する権利を保有します。
- あらかじめ設定済みの設定とカスタム設定は、(その機能が新しいファームウェアで利用できる場合)、ファームウェアのアップグレード時に保存されます。ただし、この動作をAxisが保証しているわけではありません。

注意

- アップグレードのプロセスが完了すると、本製品は自動的に再起動します。本製品のアップグレード後に手動で再起動する場合、アップグレードが失敗した疑いがある場合でも、10分間待ってください。
 - 最新のファームウェアをダウンロードして製品をアップグレードすると、製品に最新機能が追加されます。ファームウェアを更新する前に、ファームウェアとともに提供されるアップグレード手順とリリースノートを必ずお読みください。
1. 最新のファームウェアファイルをコンピューターにダウンロードします。ファームウェアファイルはAxisサポートページ (www.axis.com/support) から無料で入手できます。
 2. 製品のWebページで、[Setup > System Options > Maintenance (設定 > システムオプション > メンテナンス)] に移動します。
 3. [サーバーのアップグレード] で、[参照] をクリックして、コンピューター上のファイルを指定します。
 4. [アップグレード] をクリックします。
 5. 本製品がアップグレードされて再起動するまで、約10分間待ちます。そのあと、製品にアクセスします。
 6. [Setup > Basic Setup (設定 > 基本設定)] に移動し、ファームウェアのアップグレードを確認します。

アップグレードを行う対象が複数の場合は、AXIS Camera Managementを使用できます。詳細については、AxisのWebサイト (www.axis.com) をご覧ください。

現象、考えられる原因、対策

ファームウェアのアップグレードで問題が発生する

| | |
|-------------------|--|
| ファームウェアのアップグレード失敗 | ファームウェアのアップグレードに失敗した場合、製品は以前のファームウェアを再度読み込みます。ファームウェアのファイルを確認して、もう一度試してください。 |
|-------------------|--|

IPアドレスの設定で問題が発生する

| | |
|-----------------|---|
| ARP/Pingを使用している | 再インストールを行います。本製品の電源投入後、2分以内にIPアドレスを設定する必要があります。Pingの長さは408に設定します。手順については、49ページのARP/Pingを使用したIPアドレスの割り当てを参照してください。 |
|-----------------|---|

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

トラブルシューティング

| | |
|-------------------------------------|---|
| 本製品が別のサブネット上にある | 本製品のIPアドレスと本製品にアクセスするコンピューターのIPアドレスが異なるサブネットにある場合は、IPアドレスを設定できません。ネットワーク管理者に連絡して、適切なIPアドレスを取得してください。 |
| IPアドレスが別のデバイスで使用されている | 本製品をネットワークから切断します。Pingコマンドを実行します (コマンドウィンドウまたはDOSウィンドウで、pingコマンドと本装置のIPアドレスを入力します)。 <ul style="list-style-type: none">もし、「Reply from <本製品のIPアドレス>: bytes=32; time=10...」という応答を受取った場合は、ネットワーク上の別のデバイスでIPアドレスがすでに使用中の可能性があります。ネットワーク管理者から新しいIPアドレスを取得し、本製品を再度インストールしてください。もし、「Request timed out」が表示された場合は、本製品でそのIPアドレスを使用できます。この場合は、すべてのケーブル配線をチェックし、本製品を再度インストールしてください。 |
| 同じサブネット上の別のデバイスとIPアドレスが競合している可能性がある | DHCPサーバーによって動的アドレスが設定される前は、本製品の静的IPアドレスが使用されます。つまり、デフォルトの静的IPアドレスが別のデバイスでも使用されていると、本製品のアクセスに問題が発生する可能性があります。 |

ブラウザから本製品にアクセスできない

| | |
|-----------------------|--|
| ログインできない | HTTPSが有効な場合は、正しいプロトコル (HTTPまたはHTTPS) を使用してログインしてください。ブラウザのアドレスフィールドに、手動で「http」または「https」と入力する必要がある場合があります。 rootユーザーのパスワードを忘れた場合は、製品を工場出荷時の設定にリセットする必要があります。59ページの工場出荷時の設定にリセットする方法を参照してください。 |
| DHCPによってIPアドレスが変更された | DHCPサーバーから取得したIPアドレスは動的なアドレスであり、変更されることがあります。IPアドレスが変更された場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Camera Managementを使用して本製品のネットワーク上の場所を特定してください。本製品のモデルまたはシリアル番号、あるいはDNS名 (設定されている場合) を使用して製品を識別します。 必要であれば、静的IPアドレスを手動で入力することもできます。手順については、Axisのサポートホームページ (www.axis.com/support) にある『IPアドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス』のドキュメントを参照してください。 |
| IEEE 802.1X使用時の証明書エラー | 認証を正しく行うには、本製品の日付と時刻をNTPサーバーと同期させる必要があります。48ページの日付と時刻を参照してください。 |

本製品にローカルにアクセスできるが、外部からアクセスできない

| | |
|---------------|---|
| ルーターの設定 | 本製品への着信データトラフィックを許可するようにルーターを設定するには、NATトラバースル機能を有効にします。この機能を有効にすると、本製品へのアクセスを許可するようにルーターが自動設定されます。52ページのIPv4用NATトラバースル (ポートマッピング) を参照してください。ルーターはUPnP®に対応している必要があります。 |
| ファイアウォールによる保護 | インターネットのファイアウォールについて、ネットワーク管理者に確認してください。 |
| デフォルトルーターが必要 | ルーターを設定する必要があるかどうか、[System Options > Network > TCP/IP > Basic (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 基本設定)] で確認してください。 |

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

トラブルシューティング

H.264 ストリームの問題

| | |
|--|--|
| AXIS Media Controlの問題 (<i>Internet Explorer</i> のみ) | Internet Explorerでビデオ映像の更新を有効にするには、ブラウザがActiveXコントロールを許可するように設定します。お使いのコンピューターにAXIS Media Controlがインストールされていることも確認してください。 |
| H.264の画像がクライアントで表示されない | AMCコントロールパネル([ストリーミング]タブ)で、該当するH.264接続方法と適切なインターフェースが有効になっていることを確認します。15ページのAXIS Media Control (AMC) についてを参照してください。 AMCのコントロールパネルで、[H.264] タブを選択し、[Set to default H.264 decoder (デフォルトのH.264 デコーダーに設定)] ボタンをクリックします。 [System Options > Network > TCP/IP > Advanced (システムオプション > ネットワーク > TCP/IP > 高度な設定)] でRTSPが有効であることを確認します。 |
| ローカルクライアントしかマルチキャストH.264にアクセスできない | ルーターがマルチキャストをサポートしているかどうか、クライアントと本製品間のルーター設定を行う必要があるかどうかを確認してください。TTL (Time To Live) 値を上げる必要がある場合もあります。 |
| H.264のマルチキャスト画像がクライアントで表示されない | Axis製品で使用されたマルチキャストアドレスが有効かどうか、ネットワーク管理者に確認してください。 ファイアウォールが表示を妨げていないかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。 |
| H.264画像のレンダリング品質が悪い | グラフィックカードで最新のデバイスドライバーが使用されていることを確認してください。最新のドライバーは、通常、メーカーのWebサイトからダウンロードできます。 |
| 彩度がH.264とMotion JPEGで異なる | グラフィックアダプターの設定を変更します。詳細については、グラフィックカードのマニュアルを参照してください。 |
| フレームレートが予想したレートより低い | 65ページのパフォーマンスに関する一般的な検討事項を参照してください。 クライアントコンピュータで実行されているアプリケーションの数を減らします。 同時監視者の数を制限します。 使用可能な帯域幅が十分かどうか、ネットワーク管理者に確認します。 AMCコントロールパネル(H.264 タグ)で、ビデオ処理が[Decode only key frames (キーフレームのみデコード)] に設定されていないことを確認します。 画像の解像度を下げます。 本製品の周波数(60/50 Hz)によって、最大フレーム/秒は異なります。 |

ビデオ/画像の問題

| | |
|-----------|--|
| 画像に満足できない | [] の [Setup > Video & Audio > Video Stream (設定 > ビデオと音声 > ビデオストリーム)] および [] の [Setup > Video & Audio > Camera Settings (設定 > ビデオと音声 > カメラの設定)] でビデオストリームとカメラの設定を確認します。 |
|-----------|--|

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

トラブルシューティング

音が出ない

セットアップが正しくない

コンピューターのサウンドカードをチェックします。ミュートボタンが押されていないかを確認し、音量設定が正しいかどうかも確認してください。

[Enable audio support (音声機能を有効にする)] が [Setup > System Options > Security > Audio Support (設定 > システムオプション > セキュリティ > 音声機能)] で選択されていることを確認します。

[Setup > Video & Audio > Audio Settings (設定 > ビデオと音声 > 音声の設定)] で、正しい [Audio Input (音声入力)] ソースが選択されているかどうか確認します。

音質が悪い

途切れる

リスナーと閲覧者の数を減らします。画像の解像度と圧縮率を下げます。

ストレージ、ディスクの管理の問題

ストレージの中断

ストレージデバイスの使用不能、取り外し、ロックまたはその他の読み取り/書き込み問題が発生するとストレージ中断アラームが送信されます。問題の原因を特定するため、[System Options > Support > Logs & Reports (システムオプション > サポート > ログとレポート)] で [System Log (システムログ)] を確認します。問題の内容によっては、ストレージデバイスを再度マウントする必要がある場合があります。

ストレージ中断アラームの設定方法については、36ページの、イベントについてを参照してください。

ビデオを録画できない

SDカードが書き込み禁止 (読み取り専用) になっていないかどうかを確認してください。

SDカードをマウントできない

SDカードを再フォーマット後、[マウント] をクリックします。

注記

カードをフォーマットすると、録画をはじめとするすべてのコンテンツがSDカードから削除されます。

製品が機能しない

製品が起動せず、カメラにアクセスできない。

本製品の電源を切ります。10分待ってから、再び電源を入れます。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

仕様

仕様

最新バージョンの製品データシートについては、Axisのホームページaxis.com > [製品] > [サポートとドキュメント]を参照してください。

LEDインジケータ

注意

- ステータスLEDは、イベントの発生時に点滅させることができます。
- ステータスLEDを点滅させ、本製品を識別できるように設定することができます。設定は、[Setup > System Options > Maintenance] (設定 > システムオプション > 保守)で行います。

| ステータスLED | 説明 |
|----------|--|
| 無点灯 | 接続時と正常動作時は、無点灯のままです。 |
| 緑 | 起動後正常に動作する場合、10秒間、緑色に点灯します。 |
| 黄 | 起動時に点灯し、ファームウェアのアップグレード時と工場出荷時設定へのリセット時に点滅します。 |
| 黄/赤 | ネットワーク接続が利用できないか、失われた場合は、黄色/赤色で点滅します。 |

SDカードスロット

注記

- SDカード損傷の危険があります。SDカードの挿入と取り外しの際には、鋭利な工具や金属性の物を使用したり、過剰な力をかけたりしないでください。カードの挿入や取り外しは指で行ってください。
- データ損失や録画データ破損の危険があります。本製品の稼働中はSDカードを取り外さないでください。取り外しの前に、製品のWebページからSDカードをマウント解除してください。

本製品は、microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応しています (別売)。

推奨するSDカードについては、axis.comを参照してください

ボタン

コントロールボタン

コントロールボタンの位置については、9ページの、製品の概要を参照してください。

コントロールボタンは、以下の用途で使用します。

- 製品を工場出荷時の設定にリセットする。59ページを参照してください。
- AXIS Video Hosting Systemサービスに接続する。50ページを参照してください。接続するには、ステータスLEDが緑色に点滅するまで、ボタンを押し続けます (約3秒間)。
- AXIS Internet Dynamic DNSサービスに接続する。50ページを参照してください。接続するには、ボタンを押し続けます (約3秒間)。

AXIS M50 PTZ Network Camera Series

仕様

コネクタ

ネットワークコネクタ

RJ45イーサネットコネクタ、Power over Ethernet (PoE) 対応。

パフォーマンスに関する一般的な検討事項

システムを設定する際には、さまざまな設定や条件がシステムのパフォーマンスにどのように影響するかを検討することが重要です。ある要因は必要な帯域幅の量 (ビットレート) に影響し、他の要因はフレームレートに影響し、帯域幅とフレームレートの両方に影響する事柄もあります。CPUの負荷が最大に達した場合も、フレームレートに影響を及ぼします。

最も重要な検討事項には次のようなものがあります。

- 画像解像度が高い、または圧縮率が低いと、画像のファイルサイズが増大し、結果的に帯域幅に影響を及ぼします。
- Motion JPEGまたはユニキャストH.264を使用するクライアントのアクセス数が多すぎると帯域幅に影響を及ぼします。
- 様々なクライアントが様々な解像度や圧縮方式が異なるストリームを同時に閲覧すると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。
フレームレートを高く維持するために、できる限り同一ストリームを使用してください。ストリームプロファイルを使用すると、ストリームを同一に揃えることができます。
- Motion JPEGおよびH.264のビデオストリームに同時にアクセスすると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。
- イベント設定を多用すると、製品のCPU負荷に影響が生じ、その結果、フレームレートに影響します。
- 特に、Motion JPEGのストリーミングでは、HTTPSを使用するとフレームレートが低くなる場合があります。
- インフラストラクチャーが貧弱なネットワークの使用率が高いと帯域幅に影響します。
- パフォーマンスの低いクライアントコンピューターで閲覧すると感知するパフォーマンスが低くなり、フレームレートに影響します。
- 複数のAXIS Camera Application Platform (ACAP) アプリケーションを同時に実行すると、フレームレートと全般的なパフォーマンスに影響する場合があります。

